京城日報

本紙定價 一ヶ月金五拾錢 … 廣告料金 … 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 發行兼編輯人 … 印刷人 … 電話 …

列車時間表
京釜線 [illegible]
同上南行 [illegible]
京元線 [illegible]
平南線 [illegible]
馬山線 [illegible]

# 九月十三日夕刊 (朝夕併せて八頁)

## ◇西伯利出兵々力發表

陸軍省は十二日西伯利出兵々力に關し高級副官の談として左の諸點を發表せり(十二日午後六時東京發/發送午前七時半着)

一、八月上旬第十二師團を浦鹽方面に出動せしむべく動員せり
二、八月九日滿洲駐屯第七師團に應急準備を命じ其の一部を滿洲里方面に派遣せり
三、敵は更に主力をチタに置き黑龍江鐵道沿線及び沿海州にある友軍を脅威し鐵道と水運の便に據り兵力を自由に移轉しつつあるより討滅の要あり然るに前記第七師團の一部は居民保護を目的とし且平時編成部隊にして長距離の活動に適せざるを以て八月下旬此の目的の下に第三師團を動員せり
四、以上諸部隊に對する後方勤務の爲め全國師團より平等に特科隊を動員せり

### 烏蘇里方面戰報

## △聯合軍本隊輸送
ハバロフスク秩序恢復に努力

其筋來電 聯合軍本隊は烏蘇里鐵道沿線に在り更に鐵道に依りて輸送中なり九月十日第十二師團司令部は市民歡呼の裡にハバロフスクに入城し秩序恢復に努めつつあり(東京特電)

## △大井中將ハ市著

大井中將以下野戰第十二師團司令部は九日鐵路ハバロフスクに到着せる旨十二日留守第十二師團司令部に通報ありたり(門司特電)

## ◇露外交委員回答

露國外交委員チチエリンは英國の通牒に對し回答して曰く『勞農政府は無論外交官の交換を肯んずべし英國が過激派大使リトウイノフを英國に向け護身券を交附することを保障するに於て政府も領事ロツクハアト其他監禁中の英人の退去を許すべし此の保障あらずんば不可なり』と(アムステルダム電報)

## ◇徐時局解決通電

徐世昌氏は岑春煊陸榮廷兩氏に對し先づ福建湖南の戰爭を熄めたる上にて時局解決を議せんと通電し其の返電を待ち代表を遣るべしとの說あり(北京特電)

## ◇陸岑總統贊成

陸榮廷、岑春煊の兩氏は個人の資格にて北京の某主要人物に打電し徐氏の總統たるに贊成したり(上海特電)

## ◇厦門漸く平穩

廣東內訌の戰爭より延いて厦門の人心動搖し在留邦人亦危險なるより日本軍艦航し陸戰隊上陸し戒中なりしが其後領事團の調停に依り南軍攻擊を中止したる結果日英陸戰隊も引揚げ監視せり(上海特電)

## ◇西藏形勢益險惡

西藏に於ける形勢益々非にして今や將に危殆に陷り西藏政府は十八歲以上六十歲以下の者を强制的に兵役に從はしめ四川を攻めんとすとの報あり(北京特電)

## ◇南北兩軍對峙

北軍は龍州を奪回せんとし南軍は目下防備中なるが北軍攻勢に出づれば更に激戰行はる可く目下兩軍對峙の形勢にあり(上海特電)

## ◇廣東政府軍事公債發行

廣東軍政府は軍事公債一千萬元發行を決議せりとの報あり(上海特電)

## ◇戰爭繼續不可
ツ伯講和主張=ブ男の演說

ツエルニン伯は獨逸新聞紙に寄書し妥協的講和を主張して曰く『今にして講和を成立せしめずんば敵も味方も共に倒るゝ迄戰爭を繼續するに至らん』と又ブリアン男は維納に於ける或る晩餐會に於て獨逸新聞記者に一場の演說を試みて曰く『獨逸は墺太利と同じく商議によりて講和を締結せん事を欲し敵は正式の講和交涉は別とし唯だ靜かに講和に關する意見の交換を行ふの機會を作り雙互の意見の懸隔を論じ之れを計らんと欲し居れり故に此上流血の慘狀を繼續するの必要を見ず』と(倫敦電報)

## ◇英軍敵陣地奪取

九日ヘイグ元帥公表=我前哨枝隊は早朝ヘイグエリー及びハウリンクール森林間の高地にある獨軍陣地を奪取せり我軍はガウツオクールを俯瞰する一山背の舊英軍塹壕線を獲得しガウツオクール森林を占領せり(倫敦電報)

## ◇佛軍農場占領

佛國政府九日公表=我軍はソンム北方に於てクラストレ方面に向ひアヴエヌ東方に進出してラモツトの農場を占領し且つクロザツト運河を涉れり(巴里電報)

## ◇浦鹽慰問使派遣
衆議院各派交涉會申合

十二日午前九時より議長官舍に衆議院各派交涉會を開き左の件の申合せを爲し同十時散會せり(東京特電)

一、浦鹽派遣軍に各派一名宛の慰問使を派遣する事
一、人選は各派にて兩三日中に確定議長に通知する事
一、出發時日は人選決定の上協定する事

★日本軍司令部のノツクス少將(本社從軍記者撮影)

浦鹽派遣の英國軍司令官ノツクス陸軍少將は九月五日浦鹽着日本軍司令部に大谷軍司令官を敬訪し且つ參謀長とも會見した少將は英國陸軍部內に於ける有數の露國通、こんど西伯利亞へは重大なる使命を帶びて渡來した、寫眞は五日夕刻軍司令部の玄關を出んとする少將及びその幕僚(少將は向つて左)

## ◇浦鹽政變眞相
夏秋龜一氏談(一)

浦鹽斯德に於ける紛擾は今日に於ても熄まない之に就て各方面に報道せらる、處を見ると單に其表面をのみ見て內面を解してゐないものと想像さる、各新聞に掲載せられてゐる記事も多少誤解の點があるから今事變の目擊した事と確聞した事とを綜合して

▲其眞相とも見るべき事を述べて見やう此紛擾の起因はホルワツトとトロストーフとの關係から社會黨及び非社會黨に對する聯合與國の片手落ち政策といふ事である、先づトロストーフ軍隊は如何にして組織されたか其素質から述ぶる事にしよう、抑も此のトロストーフ軍隊は過激派及び獨逸に反感を抱いてゐる智識階級及び有產階級の者が組織したものである、チエツクが事を擧げて以來過激派は遂に浦鹽斯德を追ひ拂はれたが猶浦鹽には社會黨たる西伯利政府とゼームツホとがある、社會黨を快しとせぬトロストーフ軍隊は此の兩者の

▲何れにも附屬する事を欲しなかつた、然し聯合與國の勸告急なる爲め不本意乍ら遂にゼームツホに依つて味氣ない月日を送る內にも來るべき時機を窺つてゐた折柄非社會黨を主唱するホルワツトが司令を宣言した對のトロストーフの軍隊は此宣言を如何で默々として聞き流しにしやう好機逸すべからずとなし皆一齊にホルワツトの麾下に馳せ參じた然るにトロストーフ一人のみはホルワツトに屬する事を反對した

如何なる理由の下に反對したか是等の事は明言する事は出來ぬが漏れ聞く處に據れば英國の陸軍少佐たるベンロフが

▲トロストーフに對して約した事があるといふ事である それは若しトロストーフにしてホルワツトに屬す事に反對すればトロストーフに二個師團を編成し得べきだけの金員を送るべしといふ事である、是等もトロストーフをしてホルワツトに反對せしめた一因とも見なされるであらう、斯うして反對したトロストーフは各國に對してホルワツトを大いに誹したのである、先づ最初に米國に對してホルワツトは我が麾下の兵士を全部彼の手に依つて奪ひ取つた、然して彼は西伯利政府轉覆を謀る其他種々の陰謀を企てゝゐる

然し目下一人の部下をも有せぬ吾として是れを奈何ともする事が出來ぬと眞實らしく泣き付いて

▲遂に米國に取り入り聯合與國をも味方たらしめたのである、ホルワツトに於ては何か陰謀をも有して居なかつた何等の暴威を振ひ發まじきと思はるるホルワツトは順直であつて如何なる場合に於ても暴力を振ふ事の出來ない男である、しかし事情を知らない聯合與國は露を眞の國と見てか遂にホルワツトを目して奇怪なる者として果てはトロストーフ軍隊の將卒に對して武裝解除を迫るに至つたのである茲に於てトロストーフ軍隊の將卒は甚だ憤慨し忽ち彼等の胸部に燦然と輝いてゐた處の而も各國より授かつた勳章は彼等の手に依つて各國へ返還されたのである(東京支局)

## ◇兩將軍伏奏

島村軍令部長、上原參謀總長は十二日前後して參內所管軍要政務を奏上せり(東京特電)

## ◇林公使通過

林公使は十二日正午哈爾賓丸にて門司經港同日神戶に向ひ歸京の途に就きたるが公使は時局問題に關しては吾等の自由なりと語れり(門司特電)

## ○始政八周年記念繪葉書發行

來る十月一日總督始政第八周年記念日に相當するに就き總督府にては例年の如く同記念の爲め繪葉書を發行し三枚一組十錢にて同日より郵便局所に於て之が發賣を開始すると同時に記念當日及び期間經過後三日間內は主として第二種郵便に特殊通信日附印を押捺すべし當右郵便物以外の物と雖も一錢五厘以上の切手を貼付したる者には希望に依り特種通信日附印を押捺すべし而して右繪葉書の種類は一、黃海道兼二浦三菱製鐵所二、平安北道龍川町大正水利組合事業三、平安北道安東縣共同販賣並に江原道浦洑(?)立繩牧場の三種なり

## ○定例長官會議

定例長官會議は暑中休假中火曜日の外は休會し居りしが十三日午前九時より暑休後始めて開會し長谷川總督山縣政務總監臨席各長官局長所屬秘書官房局課長列席し重要政務に關し審議し正午散會せり

## ○朝鮮米價亂調
輸送難より來る

九月初めより時局の影響を受け鮮鐵の輸送力は殆ど一般貨物に及ばざるを以て朝鮮內に於る

▲物資の需給は頗る不均衡を來し物價の平準を失ひつゝある觀を呈せるが米價の現狀に付ても有力當業者は曰く朝鮮內米價の近況は全く亂調子と目するを適當とせん然も大別すれば在米の比較的豐富なる地方は米價下落し在米品薄の土地は反對に底强き觀あり乃ち端境期の食料米不足と先高を見込み思惑にて貯米せる手筋は今回の特別輸送に際會して貯米の運送をなし得ざるに至りしが一方秋季の加はると共に新米の出廻りは漸次多きを致さんとし更に內地の政府買上米賣出しの影響も及び來らんとの觀あり鮮人等は

▲前途の見當をつけ得ず中澤方面の如き米產地は投物續出の狀態にて米價低落荷車により京城に仕向けを企てつゝあるもあり然も石二圓の運賃を支出し僅かに間に合ふらしき話に付京城の相場こそ然るに京城の如き品薄の土地は輸入米僅少に付米價は勢ひ亂調を呈せざるを得ず此際何等か賣米の輸送方法を講ぜざれば米價の亂調は防ぎ難からん又內地の東京大阪神戶等にては近く政府買附米の賣出しあるべく白米三十六七錢見當との事なるが右の賣出しにて幾何內地米價の

▲米價の賣崩しをなし得るやは疑問なる如く又朝鮮米界の受くる影響は輸送難と米穀金融の梗塞並に需米等の關係よりして微弱なるべきか

## ○製鐵事業と鐵石の供給
共に頗る盛況

最近朝鮮の鑛業界は金銀鉛タングステン亞鉛等各局の惡影響を受けて悉く經營難を愬へ居れるが唯僅に製鐵並に鐵鑛石の採掘業のみ好勢なり

▲三菱製鐵所の如きは現在一日百五十噸鎔鑛爐一基の操業を續け更に近く百五十噸鎔鑛爐の火入れを見三百噸の銑鐵を得べきが時局の好影響殊に米鐵禁輸の結果銑鐵一噸五百圓弱に騰貴せる際とて收益豫想外に好況且つ副產物の收入も多く此の狀勢にして繼續せば三菱製鐵の投資せる約三千萬圓の回收は明年中に終了すべしとの事なり又內地に於ける製鐵所は八幡を始め各地に增設新設を見殊に巨細の東洋製鐵の如き近く米國より鎔鑛爐の上火出れを行ふ豫定にて各製鐵所より朝鮮の

▲鐵鑛石需要 申込みは甚大の額にて鐵山採掘者はその需要に應じ切れざる狀態にあるが京畿牛溪鑛業社の如きは平南黃海江原各道に亘る鐵山より石の供給を契約し西崎氏の載寧鐵山殷栗鐵山の如きその採鑛に全力を盡しつゝありと

## ○東拓社員優遇
臨時手當支給

東洋拓殖會社にては物價甚だしく騰貴したるため社員生活費補給の必要ありと認め全社員に對し最近本俸の三割を臨時手當として支給する事に決定八月一日に遡りて給付する事となりしが東拓の在鮮社員には既に本俸に對し五割の手當の外更に今回の臨時手當支給となりしため手當額八割となりし譯なりと

## ○鮮銀行員手當

朝鮮銀行にては昨夏以來行員以下の行員全部に對し物價騰貴のため本俸の二割五分を臨時手當として支給する事となりたるがその後物價は益騰貴の趨勢をなすより更に同當局に於ても目下立案中に付近く決定實行すべきが內容は下給者に厚く上給者に薄くすべく又均しく百圓の本俸者に對しても家族の多寡によりその給附額を異にすべく乃ち實際に適切なる手當て方法を講ずるもの如し

## ○濟南鮮銀準備

鮮銀にては夙に總督府より設置を命ぜられたる濟南支店の準備中なるが支店長は鐵嶺出張所主任松之原孝善氏に內定氏は目下內地に歸省中なるが二十二三日までに濟南に到着各種の準備を急ぐべしと

## ○京城局交換拂渡

京城郵便局八月中の京城手形交換に於る拂渡し狀況を聞くに內國爲替十七萬九千八百七十三圓、外國爲替百九十二圓、郵便貯金九十二萬二千六百七十七圓此拂渡總額百十二萬二千七百四十二圓にして之を昨年同期の七十四萬七千四百六十五圓に對比するときは三十五萬五千二百七十七圓を增加せり

## ○軍司令官北巡

軍司令官宇都宮中將は元山咸興並に北鮮部隊巡視のため山本參謀及び野津副官を從へ十三日午前六時廿分出發せるが巡視日程左の如し

▲十四日 咸興步兵第七十四聯隊(第四、八中隊を缺く)▲十五日永興灣要塞司令部及要塞砲兵一聯▲十六日清津上陸▲十七日羅南步兵第七十三聯隊、第三十七旅團司令部、騎兵第七十三聯隊第三大隊第四、五八中隊缺及騎兵二十七聯隊(一中隊缺)野砲兵第二十五聯隊(一中隊缺)陸軍倉庫、衛戍病院、衛戍監獄及工兵第十九大隊▲十八日會寧衛戍病院▲十九日同地發鏡城着▲二十日鏡城守備隊(六十三聯隊の第十中隊)及吉州守備隊▲二十一日城津守備隊(步兵第七十三聯隊第十二中隊)▲二十二日新乾甲守備隊新岡山守備隊(步兵第七十三聯隊の第八中隊)北青興守備隊(步兵第七十三聯隊…)

除の五中隊▲二十三日鮮馬にて同地出發二十五日會寧着二十七日午後一時二十五分龍山驛着除任

## ○萩野田中兩文學博士
十四日朝入京

東京帝國大學文科大學教授萩野由之同田中義成の兩文學博士は支那視察の途朝鮮南部を旅行中の處十四日午前四時五十三分南大門驛着巴城館に投宿すべし

## ○米國情報局員

北米合衆國情報局員アーサーブラード氏は或任務を帶び鮮滿經由浦鹽に向ふべきが十四日頃釜山着十五日京城通過の豫定なりと

## ○小宮前次官來期

小宮前李王職次官は久々にて李王家各殿下への伺候並に今回の視察を兼ね本月下旬若くは來月初め來鮮の旨某所に通報ありたり

### 人事消息

▲大川滿洲鮮銀總支配人 十三日午後七時三十八分南大門驛着列車にて入京當分滯京の筈

## 茶前酒後

◆奉天督軍張作霖君、茲に宿望を完遂して、東三省巡閱使を贏ち得たり、其得意や想ふべく、御禮廻りや察すべき也▲彼や此や中央部の猛烈なる幇間たり、右手に鮑將軍と結び、左手に馬中將と携へ、既に東省は彼れの掌中に在り。されば彼の宿望は、其名目にありたり、然るに今日其實共に併得す。彼や最早東三省王を以て、天下に臨むを得べし。綠林の出にして、天下に其覇を稱し、四周を威伏するに足るもの、蓋し南方の陸榮廷と彼のみか◆隴を得て、蜀を望むは人情也。彼果して一巡閱使を以て、滿足するや否や、況んや富、權勢の觀念は人一倍に强烈なる彼也。更に彼の金指が副總統の椅子に向つて、動かんとすと傳へらるるも、蓋し事には非ざるべし。然り、副總統位の爭奪は、未だ容易に決すべくも非ず今日の支那は、男子の功名は、手に唾して取るに便なるの時代也。作霖君の野望、大いに豬突するも亦不可ならずとせざる也。◆ヒンデンブルグ愈破れて、ヒンデンブルグの死去亦傳へらる。嚮に腦震盪にて死去せりと噂されたる彼は、今度は自殺なりと稱せらる。由來死報は屢々虛を傳へて、世間の物笑ひとなる事多ければ、之も眉に唾して聞き措けば可ならんか。◆迎英獨墺外相相會して、最早如何なる平和運動も、現時の情勢に於ては、寸効なしと語る、窮狀寧ろ憫然也。◆聯軍司令官フオシユ將軍、巴里よりの祝電に答へて曰く。敵は全く攻擊力を失へり、吾人は敵に追擊せざるべからずと。急擊猛討獨軍算を亂して敗走す。兩々相應じて來れば、大戰の結局も、最早推するに難からざる也。伯林城頭、スプレー河畔、一葉落て天下の秋を知る者ありや否や。

鮮松原木角
長一間以上五間迄 角尺以上二尺迄
品質。良。造材。正。鴨綠江材以上の好評を受く
續々入荷薄利にて商談可仕候
京城古市町
材木商 熊野商會
電話長一八二番 振替貯金一三八五番

◎電話開通龍山四一八番
鴨綠江採木公司 鴨綠江製材無限公司 京城出張員
鴨綠江材販賣 山崎新
龍山榮町一番地

國末式ペント金庫
▲進步せる學理と最新の機械力とにより製作せられたる……
國末式ペント金庫は人爲的破壞は勿論猛烈なる熱火と重抗物の壓擊に無限の抵抗力を有するは國末式ペント金庫の本領とす
內閣諸官省御用 金庫製作所
國末金庫店
東京市日本橋區通四丁目 電話本局三八五番 振替東一九九〇三
△寫眞入商品目錄は御報次第進呈仕候

京城電氣會社製特約販賣
コールタール
龍山漢江通り八 電話四九番
金物商 島田忠作商店

移轉廣告
今般弊事務所を京城黃金町一丁目二百十五番地に移轉致し候間此段廣告仕候
大正七年九月十日
京城黃金町一丁目二百十五番地
合資會社 高田商會京城出張所

稻扱器 唐箕萬石 籾摺臼 米篩及籾通
◎一般稻扱修理に應じます
◎慶尚南道稻扱修理傳習所(九月一日より開催)
朝鮮勸農商會
釜山本町二ノ一 電話長九六二番 振替京城一五四八

第三師團長 大庭中將

# ○獨逸通で子福者

## 第三師團長 大庭中將のこと 部下を愛すること慈父の如し

名古屋第三師團は藤井幸槌中將麾下の枝隊と共同動作を執るべく北滿支國境滿洲里を第一目標として出征の途に上り既に朝鮮通過續々北進した師團長は であつたが過般陸軍大異動に際し仙臺步兵第四旅團長から現職に轉じたのである、稟性溫厚最も緻密な頭腦を有し

❖獨逸通の 大庭二郎中將である中將麾下の某將校は中將の事について語る『閣下は中々の才利きであるが健康を害して迄も飲んだり公務に支障を惹す樣な事は絕對に避けて居る本年五十四歲夫人との間に目下名古屋の地方幼年學校在學中の長男次男外男女五人を有する中々の

❖子福者だ 大學を首席で卒業すると間も無く日露戰爭に出征を命ぜられ軍參謀大尉として初陣の功名を遂げた凱旋後獨逸に留學すること五年、三十六年に歸朝して日獨戰役には乃木大將麾下の旅順攻圍軍參謀副長として作戰に努めた其後戶山學校長時代に步兵操典の改正に

❖熱血を注 ぎ殊に下士の重用に意を贈けたので下士から神樣の樣に尊敬されたものである部下を愛する非常なもので若い將校等と階級を離れて酒を酌み交し曾て朝香宮殿下から酒肴料御下賜の恩榮に浴した際など是れ大庭個人に下された物ではないとて部下と會飲

❖榮を頒つ た美談もある歐洲大戰勃發に際し露國大本營附觀戰武官として派遣され後現第三師團長に拔擢されたのである』

❖待從武官 には最も適任である日露戰爭時代には後備野戰隊として出征した現在名古屋市東二葉町に住し留守宅には十九を頭に八人の子女があるが○○間際に不幸次男を喪つて淚尙未だ乾かぬやうな譯、現職には就いたばかりで前任仙臺からは漸く去月二十日頃になつて荷物が到着した位である非常に

## ▽嚴格な人 第三師團參謀長 奧村大佐

少佐時代に侍從武官を勤めた事もある

第三師團參謀長として大庭中將の帷幄に參ずるは奧村拓治大佐である大佐は東京府士族士官學校出身である大佐につき某大佐は語る『奧村大佐は少佐時代侍從武官

❖嚴格な人 で大佐は赴任前から○○の事は知つてゐたが愈々と云ふ間際まで遂に夫人にさへ其の事は打明けなかつたさうだそして『西伯利亞の野邊の醜草薙つくしいや輝かさんすめら御稜威を』の一首を詠んで悠々○○に上つたさうである』

## ○自殺の噂ある ヒ元帥

眉唾ものだが有り相な風聞

獨逸の猛將軍ヒンデンブルグ元帥が自殺を遂げたと云ふ取沙汰がある右に就き陸軍の某當局は曰く當局へはまだ何の沙汰も無い眉唾ものではあるまいか、尤も此程來ルーデンドルフ將軍が頗る皇帝の親任を得その反對にヒンデンブルグ將軍は皇帝から甚だしく疎外されて居る傾向のある事は情報に據つて明かである、で近來ヒンデンブルグ將軍は殆ど戰鬪の表面に立たず矢面に立つてゐるのはルーデンドルフ將軍だけである。此邊からヒンデンブルグ將軍の自殺と云ふやうなことは如何にも噂されさうな事だ、併し此の自殺說は恐らく株を引上げん爲の株屋さん達の奧の手か乃至は獨逸の攪亂を企てる目的の風說か何ちにしても眉唾ものだと思ふ

# ○西伯利戰の花形

## 騎兵の價値が認められた 軍馬は嚴寒に堪へ得る

龍山通過北行した 原田中佐談

○○日龍山通過の○兵○○○○原田中佐は語つて曰く『ハバロフスク占領の殊勳者たる宮內聯隊長は我が長沼挺身隊の幹部として功勞の多かつた人である、從來日本の騎兵は

▽價値が疑 はれて居たが、今度こそは世人も騎兵の價値に就ては充分認めざるを得まいと思ふ、敵を攻擊する際急追又急追に依て恐れかゝつた敵勢を潰亂せしむるにはどうしても騎兵の活動に俟たねばならん、又ハバロフスクに於けるが如く

▽一ヒ深く 敵の懷に突入つて、意外な成功を收めるのも騎兵の領分である、要するに西伯利に於ける花形は騎兵隊でなければならぬ、嚴冬中馬の耐寒力を氣遣ふ人が多いが日露戰爭當時零下三十度迄も下つた

▽野天に放 して置いて何等差閊へなかつた經驗に徵するにさう心配したものでもなからう馬匹の補充はどうせ西伯利馬に依らなければならんが、西伯利の馬は耐寒力は強いし、よく走るから補充が滿足につきさへすれば理想的だ、萬一の場合には滿洲の

▽白い馬を 補充しても宜からうて？そりや出來ない事はないさ、日露戰爭當時は黑い馬の中に白い馬を交ぜて騎兵斥候を出したものだつたが、却つて敵が味方か敵か解らないので、思はぬ成功をした事さへあつた』

## ○鼻孔も凍る 艦上生活

浦鹽より凱旋せる 石見艦長の談

浦鹽の警備を終りて呉に凱旋したる石見艦長海老原大佐の談に曰く『本艦は去る二月九日吳を出て十二日浦鹽に着したが當時物情騷然たりし彼の地へ突如我軍艦が入港したので露人は可成り驚いたが後にはよく諒解した樣である傚艦が出入港の時は檣や煙突が海水で凍つて

▼大氷柱を 成し中々見物だつたが艦內も蒸氣や人の息で天井は一寸位凍り艦上の溫度は零度以下十二三度で防寒具に身を固めても甲板上に二時間立つて居ると鼻孔が凍り三時間ストーブで溫めねば身體が溫まらぬ、食品などは內地で冷藏器へと云ふ處を反對に溫藏器へ入れる始末だつた併し月夜の結氷は

▼頗る美觀を 呈する當時浦鹽市街は物騷で白晝我陸戰隊を狙擊する暴徒あり遂に二名の死者と數名の負傷者を出した、在留同胞三千名の熱誠なる歡迎と來艦の深厚な交誼は忘れぬ處である云々(吳)

## ◇變つた外米の炊き方

[illegible]

同攪き廻した上清水に入れて白い水の切れるまで流し釜に仕掛けたる後外米五合に對し鹽玉(俗[illegible]

外米の特性として米粒の表面に浮び出た脂肪が一部分腐敗して[illegible]

[illegible]爲であると▲外米黨は早速試むべしである

[illegible]客 十一日午前釜山入港壹岐丸一二等 [illegible]

三等(三百七十九)

子、角田氏信、山本幸子、笠原尙助、介谷[illegible]

三等(百五十五名)

◎暴風警報 [illegible]

天氣 一晴 [illegible]

# ○兵隊の小父さん 戰に勝つて下さい

## と書いた名刺を持つて 幼稚園の子供が慰問した 愛らしい遊戲に大喝采

○○日龍山驛を通過した出征○○部隊は○○を滿載して北行したが途指揮官○○大佐は『敵が無暗に尻に帆をかけて逃げて了ふので我々は戰線に立つやうになるか何うか解らない、皆樣が熱心に御慰下さるに對しても

☆一發位ゐ ぶつ放さなければ濟まない』と汽車を降りるや相手構はず腓肉の歎を洩す、馬の手入れを終つた軍曹は『平澤とか言ふ廣い野原を見た時は、威勢よく砲車をカッ飛ばして見たかつた、內地はせゝこ細しいが、朝鮮は氣持が宜い程廣い處が多い、滿洲や西伯利へ行くと

☆一望際涯 ない原野ださうだが』と地平線を指しながら、『朔風に馬の鬣を亂してガラ〳〵牽き廻つたら溜飮が下る程痛快だ』ともう魂は西伯利へ飛んで行つて了つてるかのやう、驛前に用ゐると私立新龍山幼稚園兒が數十名國旗をパラ〳〵振り乍ら『バンザーイ』と

☆可愛い聲 を張り上げ『兵隊のをぢさんいくさに勝つて下さい』と書いた名刺を一々兵隊さんに差出す、その無邪氣さ、愛らしさに醉つた兵隊のをぢさん達が只もう他愛なくなつて了つて、頭を撫でたり手を取つたりして喜んでゐた、それから

★休憩所前 で『開いた〳〵（雀と烏と樂隊遊び）』などの遊戲をして大喝采を博したのは、何よりの慰勞であつたらしい

## ○ユナウ河で溺歿した 井上伍長の屍體發見

去る二日ユナウ河に於て筏組立中激流に押し流されて溺歿したる步兵第五十○聯隊伍長井上伊次氏の屍は其後發見せるより遺骨を收拾せる旨留守第十二師團司令部に通報ありたり(門司特電)

## ○馬の手入 輸送の困難

想像の出來ぬ

▽休憩前に ○○日から○○日にかけて盛んに馬と一緒の部隊が龍山を通過するが列車が着くと他の兵連は直に降りて休憩所に向ふのに彼等は先づ馬に

★飼秣を與 へ飲料水を給與して馬の手入れをしてから漸く休憩する始末なので大分閉口してゐるやうだ、殊に動員と共に徵發された馬を一日か二日の調教で直に列車に積込んで輸送して來たのとこの馬を取扱ふ者が未教育の○○卒であるので馬は狹い車で

★猛獸の樣 な有樣で、跳ねる、蹴る、噛む、まるでそのため輸送の途中脚から血を滲ませたり傷者を出したさうだ

## ○傷病兵を見舞ふべく 米大使浦鹽へ

駐日米國大使モーリス氏は米國赤十字社日本支部長の資格にて傷兵三名を隨へ幾に築地聖路加病院長トイスラー氏を主任として浦鹽に派遣せる聯合軍傷病兵救護の狀况視察並に傷病兵見舞其他の用務を兼ね十三日午後七時半東京發敦賀より浦鹽に向ふべしと(東京特電)

# ○一目で勳等功級が

## 判るやうに勳章略章の樣式と佩用規定が變る

陸海軍兩省にては數年來從來の勳章規定改正の立案を賞勳局に申達中にて決定次第施行さる可く右略章は布片にて作り左胸に佩用し一目勳等功級を識別し得らるゝものにて戰時、演習等に佩用せしむ可く警察官鐵道員等にも適用さるゝに至らんと(東京特電)

△幼稚園兒童の軍隊送迎 ＝上は旗行列＝（十三日龍山驛にて）

## ○レニン殺しの女刺客は 絞罪に處せらる

レニンの暗殺者ドーラ、カプランは絞罪に處せられたりと(アムステルダム十二日發)

## ○通俗講演

目下京城に於て開會中なる全鮮神職講習會の招聘に應じて滯在中なる神社祭式の大家皇典講究所、國學院大學、國學院の講師たる青戶波江氏を招聘して左記に依り通俗講演を開催致候に付愛讀者諸君は御來聽あらん事を希望致候(聽講無料)

日時 十五日午後一時
場所 日出小學校講堂
演題 禮の大意
講師 國學院大學講師 青戶波江氏
主催 京城日報社

## ○乃木神社 七年祭執行

見晴山乃木伏神社にては十三日七年祭を執行せり(京都電報)

## ○平北の初霜

平北楚山測候所よりの報告によれば平北にては去月十二日初霜ありたる旨同地測候所より報告ありたるが之れ全鮮中仁川觀測所に報告ありたる最初の降霜なり之れを昨年に比すると二十四日早く平年に較ぶるも尙二十三日の早現なりと因に同地附近は十二日朝氣溫低に下降し攝氏三度四を示せり

# ○千島の得撫島 大海嘯に襲はる

## 沈沒船引揚中の人夫 數十名行方不明となる

◇……交通不便の爲め救助困難

八日午前二時半千島得撫島海岸に於いて四十尺の大海嘯起り同海岸見附にて沈沒外國船引揚作業中東西漁業會社人夫五十七名の中二十三名(內朝鮮人二十名內地人三名)行方不明となり生存者中二十一名は藥取に避難し十三名は現場に在り交通不便の爲め救助意の如くならず取敢ず大湊要港部に救助を乞ひ一方根室碇泊中の農商務省の汽船得撫丸は十一日午前十時同地に向へり其の外沈沒船西瑞丸引揚作業從事中の廿四名及び蓬萊灣に於て福知丸引揚中の廿一名も亦遭難せるもの〻如くなるが詳細は未だ判明せず(函館特電)

# ▽同情すべき俘虜

## 過激派から强制されて從軍 日本軍と知つて懲と降つた 果てはオイ〳〵泣き出す

從軍記者 金谷眞

浦鹽派遣軍司令部に過激派の俘虜が三名來た、何れもわが軍が最初に會戰したドホヴスコエ附近で捕へられた者である、三人は何れも共に汚れた上衣を著け脚には大きな長靴を穿いて今後どうなる身の上かとキヨトキヨトして

◇不安の念 に驅られてゐるやうである、軍司令部の參謀から一々訊問された時の答へによると彼等は舊蘇里附近の農民で他の一名は舊帝政時代の砲兵であつた、然るに彼等は同俘虜のマヂアール人と過激派の强制的募兵によつて從軍するとはなつたもの〻內心困つたものだと考へて居たが何不服やだと言へば

◇軍法會議 に附せられるから死刑になるよりは未だましだと思つて仲間に這入つた、然し戰線に立つ時は必ず獨墺人が後から容赦なく射擊するので命を惜しむ者は止を得ず戰爭して居りましたと語つた、而してドホーヴスコエ附近で捕虜になつた時のことを語つて言ふには『自分等は擊て

◇日本兵の 出動すると云ふ事を聞いて居ました、しかし迫山のやうに早く戰場に出合はうとは夢にも思ひませんでした、八月二十三日以來ドホヴスコエの攻擊に際しても的切チエックの軍隊だとばかり信じて居りました、だん〳〵距離が接近して來て日本兵らしい紅帽が見え出した時もなあにチエックの野郎奴が日本の眞似をして俺等を

◇威嚇かし やがるとて居りました、ところが驚いた日本の軍隊、こいつは了つた！と思ひましたが今更どうする事も出來ません、併し豫て日本兵は仁義に富んだ軍隊だと聞いて居りましたから他の國の奴等のやうに酷いとはせぬだらうと安心して甘んじて捕へられました……』と語つて居るか、續いて『お前の家族は何うして居るか』この訊問に三名は愁然として首垂つゝボロ〳〵

◇淚を流し て言ふ『噫！今日は一年中での麥の收穫時でございます、此の時期をはづしてはモウ此の冬の用意が出來ません金は無し貯へはなし老人子供は饑と寒さに死なねばなりません……』とボルシエビキ先生等もさすがに民本主義には弱つてゐるらしい

## ○山室大佐講演

救世軍大佐山室軍平氏は十三日午前四時五十三分南大門驛着入京したるが同日は東外人力に休憩の上午後二時より總督府を訪問四時半より士官會に臨み八時より壽館に於て講演をなす

一店員 內地人二名
一印刷職工 三名
右至急募集す
平壤 奧田洋行

## ○美術研究會

京城美術研究會に於ては十五日午後一時より京城俱樂部に於て同會例會を開催し會員相互の鑑賞批評等あり終つて總督府囑託谷井文學士の美術に關する講話ある由

## ○老婆の燒死

九月三十日午後八時三十分頃北青郡俗厚面李有女(七五)方より發火し一戶一棟を燒失したるが李女は老齡の爲避難の暇なく燒場に於て燒死したり

## ○普通校の時局講演

貞洞普通學校にては十六日より龍山驛に於て出征兵士の送迎を爲さしむるが、兒童に時局を明かに了解せしめ我兵士を誠心より送迎せしめんとて十四日午十時より同校に於て本社龍山派出所記者時局講話を爲す事となりたり

## ○避暑外人引揚

元山南里の外人避暑客は本年豫定以上に達し頗る盛況を極めたりしが例年に比し意外に凉しく今や秋冷の候に入りしを以つて續々引揚け九日を以て全部の引揚を見たる由

帖佐博士の賞讚せる
改正胃活

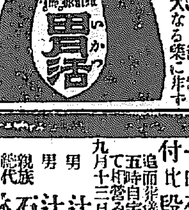
胃活は陸海軍醫の合議製劑でありますが、時勢の進運に伴なひ改良進步といふことを忘れてはなりません、最近其結果を公にして學者の批評を求めましたが、斯道の權威として有名なる、醫學博士帖佐彥西郎先生が配劑宜しきを得胃の諸症に對して顯著なる効能ありとの賞讚を得たのであります

アキ 秋
夏の暑さで胃が弱り、胃の運動が鈍り、食も進まず、全身の營養が衰へて居る所へ、秋は日中が暑く朝冬凉しいから溫度の變化甚だしい上に、夏に減ぜられた食慾が急に進んで思はず暴飲暴食をする、遂に胃腸の加答兒を起し、下痢病、チフス、赤痢を起すのであるから諸君が若しも胃が病いと氣附いた時は即時に胃活を用ひて早い目に御治しあれ、サレバ胃活は如何なる家にも無くてはならぬ家庭の常備藥であります

クチ 口
ノ
イ 胃

胃活の特色
(一)胃活は五大重要合劑健胃藥なり
(二)胃活は普通賣藥にあらず
(三)胃活は一時的消化藥に非ず
(四)胃活は口中藥にあらず
(五)胃活は容量大なる藥に非ず

胃病良藥



藥は必ず思ひ立ちたる時買ふ可へ
定價 一圓、五十錢、七十錢、十五錢 全國各藥店ニアリ
本舖 東京 大阪 山田安民藥房

富の道しるべ 山縣五十雄 上唯吉 共著 定價十五錢 郵稅二錢 京城本町 振替京城 代理部

釜山名店案內

乾物 糖粉 煙草 雜貨 卸問屋 釜山 西 今商店

酒精 燒酎 西貢米 大豆 砂糖 麥粉 雜穀 食料品 釜山埋立新町 龍榮商會 本部 電話長一〇八番

洋酒 鑵詰 糖粉 釜山 あづまや商店 電話二五九番 振替京城三九番

內地材各種 鴨綠江原木卸商 平野材木店 釜山榮町 出張所

人參精葡萄酒

母トク子儀豫而病氣の處養生不相叶本日午前一時死去致候に付此段謹告仕候
追而葬儀は明十四日午後五時自宅出棺華藏寺に於て佛式營み申候
九月十三日
男 辻川富重
男 辻川鐵之助
親族總代 石橋久太郎
林長太郎
友人總代 奧田貞次郎
松村三省
下田勝七郎

## 大連より

◎京大附屬醫學博士戸田正三氏が滿洲視察談として歸途大阪朝日新聞記者に語つた談話記事の内に滿洲は肺病の巢窟なりとの語は滿洲各方面の物議を喚起したり

◎戸田博士の議論は滿洲の住宅は單に防寒施設にのみ重きを置き甚だ非衛生的なるを以て其の間に結核病者續々發生し肋膜の名の下に内地に歸還し病毒を内地各方面に撒布して居ると

◎戸田博士の議論も多少誇張した嫌ひはある而しながら之に對する滿鐵醫院及び都督府民政部衛生課等の當局の反駁は甚だ根據の薄弱なるものである

◎試みに其の擧げられたる統計なるものを見るに其の癩病者のパーセントは常に内地よりも滿洲の方が遥かに多數を占めて居る

◎又日本人支那人外國人を區別して日本人の肺患者の少數なるを誇示して居るが滿洲に肺患者の多いといふ事は其の支那人たると日本人たると將た諸外國人たるとを問はず一律に滿洲居住者又は滿洲の肺病患者と叫ばるゝも止むを得ざる由

◎要するに爭ひは字句の問題にして巢窟なる言葉が如何にも根源とか蓄積とか根據とかの意味に響き從つて滿洲の肺患者が内地の率に比し五倍又は十倍の如く聞ゆるが故に非ざるなりと云ふに在り

◎滿洲居住者として斯くの如く滿洲を不健康地肺病の巢窟なりとは適當なる方法を以て誤解恐怖を内地に傳へらるゝ事を好まざるは尤もなる次第なり此點に付きて誤解恐怖なからしむる事に勉むべきなり

◎夫と同時に滿洲に於ても議論より實際に更に衛生施設を完備し道路の撒水汚物塵芥の取締清潔法の勵行肺病院の設備等を爲すの必要あるべし

◎實際統計又は議論よりも吾人の日常生活に於て滿洲居住と肺又は氣管の病患に就きて此の憂ふる所なき能はざるなり吾人の見聞する處の病沒者中には肺の爲めに斃れたる者誠に驚くべき數を示すに非ずや

◎議論は第二なり人口僅に五萬内外の大連市に在りても赤痢窒扶斯等の傳染病の年中絶ゆる事なきより見るも吾人は該問題の起りたるを機とし各個衛生上甚だ注意を拂ふと共に當事者に向ひ更に衛生施設の完備を要求するの要あり

## ◎北滿新事業

◇鐵道敷設＝製材業◇

◇◇合辦製材業　吉林歸客の談に依れば吉林に於ては曩に大倉組及び鴨綠江採木公司の合資に成る製材所新設され既に作業を開始しつゝあるが今回又々三井物産と支那資本家と合資組織にて一製材所を新設することゝなり既に諸般の準備調ひ目下機械の据付中なるが同製材所は資本金二百萬圓にして工場を九站に建設すべく同地は松花江湖由の地點なるに依り水運便利にして貯材に適し又材木運搬上最も便利なる點ありと

◇◇蒙古行輕便　張家口庫倫間の交通問題は世人の注意を惹き曩に自動車運轉を開始し何分交通の便を助けつゝありしが北滿急を告ぐる今日同地方の交通を完備し置くは國境防禦の上より論ずるも必要なりとし交通部に於ては今回輕便鐵道新設の計畫を立て宣化より歸化に至るもの張家口より庫倫に至るもの並に熱河より赤峰に至る各一線の輕鐵を布設する事に關し已に調査進行中なるが國務會議の決議を經ば直ちに準備に著手すべしと

◇◇兩省鑛產額　農商部總長田文烈氏は奉吉兩省の金鑛及び鐵鑛の豐富なるに注目し開掘のものは農商部より直接採掘をなすべく計畫し同省技師金俊氏をして之れが調査の爲め兩省に派遣したるが氏は約三箇月の豫定を以て兩省技師と會同實地調査を行ふ筈なりと(奉天)

## ◎安東通信＝好景氣

一般木材界の好景氣は秋季に入つて多少の頓挫を來すことあるべしとは當業者間に於て期待せられたるなりしも肝腎の筏流下期に於ける筏夫間に於ける種々なる紛擾の爲流下不能に陷れるもの甚だ尠からざる數量に及びしと其の後に於ける兩三回の豪雨にて更に多數を流失せしめたる等にて朝鮮側に於ける流下材は著るしく少量となりたる爲

◇さなきだに銳敏なる◇

市場は全く漸騰の趨勢を緩むることなく一層高値を現出せんとする折柄更に稍大口の用材の註文殺到れたるを以て益々此趨勢に煽られかけ居り最近に於ては益々強氣を續けの狀況にあり當筏の流下期は本月中旬を以て打切りとなすべければ安東新義州兩岸の蓄筏數も確定し

◇確かに市場の將來を◇

豫想し得べきも遠からざることなり今日に蓄筏せる各種材の數量を擧ぐれば左の如し

紅松(三十萬尺〆)杉松(百三十萬尺〆)落葉松(十五萬尺〆)雜木(二十萬尺〆)

以上を時價に換算すれば一千五百萬圓に及ぶもの也是を要するに

◇明年の流筏期までは◇

價格の騰貴するも少しく低落を期し難きものにて右の中紅松及び落葉松は其蓄筏至つて少數なりしが爲に此兩材種の價格は殆ど標準なき高値を示しつゝあり(新義州)

## ◈朝鮮劇◈

### 新演劇―友情

總督府囑託　加藤灌覺氏譯

◇朝鮮近代の人情寫實◇

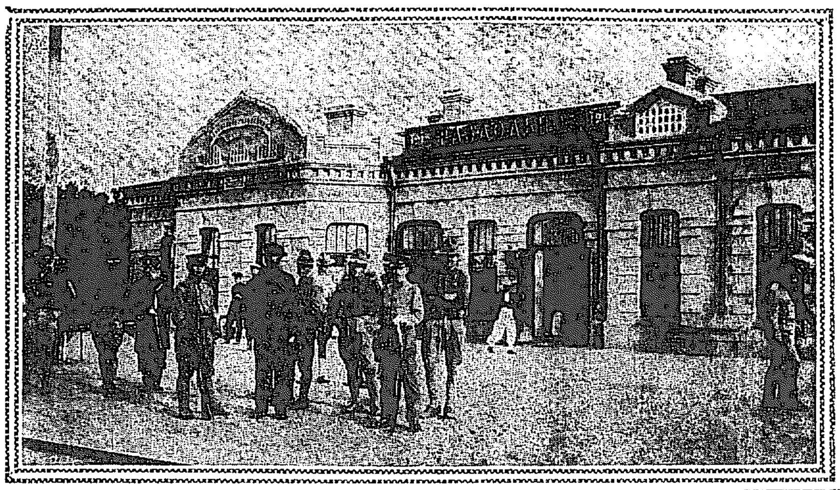
此の藝題は平壤生れの書生金星學なる者京城に來りて苦學中生活難の爲に公園を徘徊して將に自殺を決行せんとせる際京城の紳士閔正勳及び資產家姜聖義なる者の弟聖元が散歩に來りて之を救助し閔正勳の保護に由りて勉學中なりしが資產家姜聖義は閔正勳の娘楚仙に戀慕して之を娶らんとの希望を有し直接之を閔正勳に打明けたる處閔正勳は楚仙を以て勤勉なる苦學生金星學の妻たらしめんとの希望ありしを以て之を拒絶したるに姜聖義は之を斷念すること能はず暴力を以て楚仙を奪略したる上強制的に己の慾望を遂げんと欲し惡漢等に酒食金錢を給して之を實行したるも楚仙は頑として之に應ぜず隙を覗つて聖義の別宅を脫出し貞操を完くして遂に金星學と結婚し一家繁盛したりとの始末を敍せり右は由來朝鮮に於て行はれたることありし婦女掠奪の片面を寫さんとしたると同時に近代的思想より來れる苦學生なるものを主人公となして觀客の嗜好に投ぜんとの試みなるが如し

### 同―忠？義？

◇固有の罪惡を脚色す◇

此の藝題は鄭澤と呼べる惡漢己の妻と共謀して好色紳士たる男爵なる人の財產を橫領せんと欲し己が同類石定なる者をして同家の車夫に住み込ましめ遂に李男爵を暗殺して其の財產の一部を橫領し尚ほ李男爵の實女愛卿をも殺して其の爵家を奪取せんとしたるに當り李男爵家の忠僕信甫なる者之を探索して官憲に密告し遂に惡人の全部を極刑に處したりしとの顚末を敍す右藝題は由來朝鮮に行はれ來りたりし罪惡の事實を捉へて之に多少の潤色を加へたるものに係れり

## 從軍寫眞畫報



ラズドリノエの日米軍(本社從軍記者撮影)

## ◎東支鐵道の禍根

### 同盟罷業の背後に暗中飛躍する過激派と獨墺捕虜の煽動

東清鐵道罷工問題は其の後依然終熄せず而も其の內容著るしく政治的色彩を帶來たり日支運輸をして絶對不可能なる域に陷らしめ前途暗澹たるの觀あり右の如き行動は單に東清鐵道の出來事として放任し同會社の自由なる處置に委ね去るべからざるは勿論なり如何となれば此等罷業は西伯利に於ける

◇過激軍及獨墺俘虜◇

に對し活動を容易ならしむる點多ければ哈爾賓に於ける露國日本支那チェック軍の各代表者は同盟罷業本部に到り幹部と會見し同夜中に是非とも列車を運轉せしむべく

◇強硬なる交涉談判◇

をなせしも何等要領を得たる回答を與へず唯だ『今日の同盟罷業は最早給料等の經濟的條件を容るゝ事のみに由りて解結する能はず本年五月に組織せる

### 鐵道從事員委員會

の復活を希望するものなり』ここれ確に政治的野心を藏する口吻を洩らせるものにして實に由々しき現象と云ふべし右の事情に鑑み各國軍事代表者等は更に領事團と協議せる結果八日右兩團體代表者と東清鐵道長官及び

### 同盟罷業本部幹部

と會見せしも諸なるが果して滿足なる解結を見しや否やは未だ知るに由なし素より同鐵道の管理に關しては露支兩國官憲間に屢次交涉を重ね現在にては同會社株主總會の選任したる露支兩國人の理事に依りて管理經營せられ郭吉林省長は總裁の職に在りと雖も支那政府は未だ之を實施し得る時期に到達せず依然として

### 露支兩國合辦事業

に關し第三國は之に干與する權利なきも東清鐵道の現狀は斯の如く同社重役の威令行はれず全線運轉停止の狀態にある以上は何等か管理經營の方を拓かざる可からず既に過激論者間には這回の罷業原因は單なる賃銀値上げ問題にあらず頗る深刻なる或意味の潛める事明瞭なれば

### 救濟の策も果斷の

處置を取らざるべからず如何となれば支那國境守備上よりも亦西伯利軍輸送上よりするも必ず同鐵道に依らざる可からず日支兩國は何時迄傍觀的態度を取るの不可なるは言を俟たず同鐵道の管理につきては佛國にも野心あるべく米國も亦野心あるべきや必せり前者は投資關係より巧に喰入らんとしつゝあれば到底正式に之を

### 日支兩國の管理に

還すは困難なるべきも日支軍事協定を實施せる上に於ては一先づ日支兩國の管理に移し其警備及び經營を日支兩國人に依つて處理する事は緊急權の行使として一般に是認せらるべし向後

### 戰線區域擴大され

車輪益々多きを加ふれば東清鐵道は最も重要なる地歩を占め其運輸能力の如何に據り其活動に對し多大なる影響を及ぼすべければ其の警備に就きても益々嚴密を要し到底前從業員をして復活せしめ以て安心するを得ず罷業の裏面に必ず何物か潛めるありて

### 聯合軍の作戰計畫

に障害を與ふるや疑ひなし何ぞ危險なる輪に據つて前進する我軍は恰も累卵の上を渡るに似たり此際須らく全部を我軍の手に掌握し安全なる運轉をなすべき事刻下の緊急事たり右に就きては露國當局との間に充分なる諒解を要し並佛及び米國とも協商を要すべく今日直ちに實現を見るは困難なるに似たれども今や軍輸停滯は一刻も緩ふすべからざるものあるが故に我當局としては遲疑も斷行の要あるべしと(奉天)

## 第六回　京日お伽講演會

日時　九月十四日(土曜)午後二時

◇…皆さんお待ち兼の…◇

◇…お爲になる面白い…◇

會場　鍾路小學校講堂に於いて

## ◎有望な撰毛業

奉天に於ける撰毛業の有望なる事は夙に世人の目を集めつゝありしが歐洲戰以來種々の關係上一時頓挫を餘儀なくされし結果今春に至り奉天城内に三井洋行の手を以て開設されたる撰毛工場は頗る好成績なるも到底現狀の儘にては需要をなし難き有樣なれば近く一千萬圓の會社として各種の事業を營む計畫なりと云ふ(奉天)

## ◎浦鹽と日貨

### 鷄卵一個八錢

浦鹽に於ける日本商品として琿春地方より野菜鷄卵等の露領輸出盛んに行はるゝに至りしが鷄卵の如き浦鹽市場にては一個八錢を唱ふるより琿春にては一時六錢內外にて取引されたり

琿春は野菜の名產地にして良好のものを產すれば今後も引續き輸出あらんと而して此等雜貨品は悉く浦鹽に於て日貨を以て拂はれ、結果自然琿春地方には昨今日貨の流通多く百圓二十圓の大額紙幣より十錢廿錢の小額紙幣まで盛んに流通されあり目下琿春市場に於ける日貨流通額は約一萬圓內外に達すべき模樣なるが支那人は兎角官帖の相場高下甚だしく取引上頗る不安なるより自然日貨を歡迎し今や日貨の勢力は日增しきものありと(琿春)

## ◎昂いく何でも

### 無暗に高い兼二浦

米價騰貴に隨伴して諸物價の騰貴は止むを得ざることなるが既に朝鮮各地に比し一層高價なる兼二浦は他地方に比し約三割高の暴騰を來し細民の困難さるもの甚だ多きが就中日用品中石油木炭等は中流階級以上にも影響を及ぼし隨つて商取引及び資金の回收捗々しからず一般に惡影響を被りつゝあり(兼二浦)

## ◎いざこ成たら何でも食る

### 松の皮でも雜草でも

此程增派兵隊所で各道所及び駐在所より山より產する食料に供し得る物を調査したが平南江原地方では次の樣なものがある

◇松皮　その次には松の皮もうだ其他萱、わらび、蔘類があるが是等も食ふことは珍らしくはない食べるそうだそれは表皮を除去して甘い部分丈として、唐黍で餅に交せて食ると美味いそうである

それから車前草の葉の煮て食ふことも出來る之れは苦味があつて美味でもないが決して健康を損ずることはないといふことは嘗て用來の米が高くなつて食ふに不味いものなら食ふ、叉は容易に胃を損し食とに適せないものがある

◇蕨　は勿論食ふことが出來るさうだそれは云ふまでもない先づこんなものである(平南)

◇桔梗　之は根を煮て食ふが永く存仕標されば十分煮て乾かして置くと好い醬油か味噌で煮ると甚だ美味いと云ふ事である芹之は別に珍らしいものでもない

◇山菜　之は葉を煮て食ふことが出來るこれは味は甚だ美味いといふ

## ◎兇賊一網打盡

◇步哨を害せし兇賊◇

滿鐵四平街驛鐵橋に於て步哨の任務に就きたる同守備隊五十嵐步兵一等卒(忠吉)を不意に射殺したる馬賊の兇行は既報の通り其後我が官憲は鋭意手下人逮捕に苦心したるが此程附屬地內にて一名の怪しき支那人を捕へ取調べたるに果して該兇賊の一人にて同人の自白により頭目北陵以下八名を擧げ逮捕したり因に數年來四平街附屬地內を荒し廻れる賊は總て此の北陵以下八名の集團なりしを以て今後は市民は是より枕を高ふすることを得べしと(四平街)

## ◎畑の中で分娩

### 結婚に異りある不幸な女

草梁驛上畑中の木陰にて年齢四十歲位の朝鮮人の女が嬰児を分娩したるを巡回の吉田巡査が發見し附近の森岡助產婦を招きて手當を加へ嬰児を分娩せしめたるが此女は慶南東萊郡[illegible]の鄭伊(二)といふ者にて先年夫に死別れて以來精神に異常を呈し爾來誰彼の別なく情を通じ遂に何者の胤とも判らざる胤を宿して生み落せるものなるが狂ひの情なさには往來で分娩しても一向之を羞かしがらず平氣で臍を緒切らせる嬰兒の顏を眺めては物凄く笑ひゐたりと云ふ(釜山)

## 滿洲土產

### 耐火粘土＝融鐵物

普蘭店停車場より十數町にて其海濱に達し潮に乘じて出船すれば五六時間で西の方五湖嘴に上陸する或は又[illegible]の停車場から四日程陸行して後三滄灣に到れば是より海上一日程にして達しもする、其處に往くと奇異の感あるが耐火粘土を產する、此五湖嘴の耐火粘土は古い時代の成生であるけれど極めて新しき觀を有し、誰い石炭を伴ふ[illegible]は多く本邦で耐火度の極めて高いものを採るが其土に[illegible]瓦を製造する、又[illegible]の炭山に[illegible]出るとはよく知られて居る、耐火粘土の[illegible]分の山にあるかも知れないといふ事には氣を付けない、氣樂な話である(神保理學博士)

## ◎新米＝載寧米

黃海道載寧郡新米九日初めて兼二浦に二十叺丈け輸著ありたるが品質良好にて乾燥も中分なく卅四圓にて御祝儀商內ありたり(兼二浦)

第三夕四

◇亡夫を慕うて自殺◇　慶北達城郡[illegible]洛東中格(二五)は先頃夫に死別れ悲歎の餘り家の中に祭壇を設けて弔ひ居たりしが服毒して遂に跡を追ひ自殺せり

◇見知らずの惡診◇　大邱東城町金子歯科醫院代診佐賀縣伊萬里生れ吉富喜一(二二)は刑の執行猶豫中なるに拘らず院長の金子を竊取せし爲め捕へらる

◇支那料理屋で亂暴◇　釜山牧の島支那料理[illegible]方にて[illegible]硝子障子器物等を破壞し主人に負傷させ拘引されしも同[illegible]谷上で[illegible]

## 農信

★新大豆(間島)

間島本年の豐作は本夏降雨多かりし結果傾斜地のものは佳良にして平坦濕地のものは不良なるが如し　されば全體の作柄は平均して九分作と見るを得べく麥類は既に市場に出で新大豆も漸く出廻りを見つゝあるが相場は朝鮮一斗(五升五合)八十錢內外なり尚ほ琿春地方も一時憂慮されたるも霖雨の害なく平年作以上の收穫あらん(間島)

## 演藝案内

**壽座**　本町三丁目　電話五七八番　喜劇連鎖義士道(女優團)　九月十三日(八日目)　第一　連鎖人情劇　女敵　兒の心　第二　落劇　先代萩　第三　喜劇　昔噺　第四　[illegible]

**大正館**　櫻井町　電話八七三　[illegible]

**◎新劇　忠僕金助**　全三卷

**◎連續大活劇　秘密の王國**　[illegible]

**浪花館**　明治町一丁目　長二六〇番　九月十四日より　[illegible]　女花車　一行外に十數名

**七色指輪**　全四卷

**有樂館**　早川演藝部直營　活動寫眞常設館　電話長一五九七番(階下三〇五番)

◎人情劇　旅の女　全五卷

◎活劇　ハーリの默れ　全三卷

◎人情活劇　眞心　全三卷

◎軍事餘談　家なき兒　全二卷

**黃金館**　天然色活動寫眞常設館　電話(晝間)二二六六番(夜間)二二六七番

◎悲劇　最後の猿飛

◎白萬弗の秘密

◎悲劇　花咲く家　全三卷

◎滑稽　道中膝栗毛


# 毒の病

はい毒!!!りん病!!!

賣藥界にて有名なる花柳病專門院長先生は[illegible]

東京淺草山ノ宿五一　丁巳堂藥院



## 朝日式經濟ランプの特長は何!!!

ランプ界の革明軍顯る

◎火災を恐るゝ人◎光力を望まるゝ人

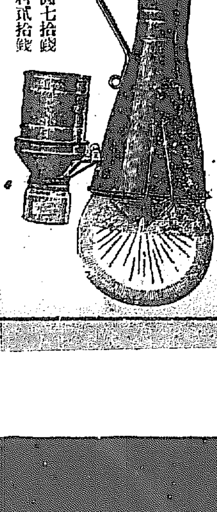
◎經濟を論ずる人◎石油は普通ランプの半額

◎如何なる強風にも堪へ得◎堅牢無比

價格安價實用に適す

◎以上の特長を有する近力本位之本器を是非共一度御試の上御公表を賜らん事を……

▲特約代理店募集す(御希望の方は特に御相談に應ず)



壹個金壹圓七拾錢　外に送料貳拾錢

海外送料四拾錢

見本として一打以下は箱代荷造費等相掛り候に付一切割引せず

東京市本郷區湯島天神町一の八一　振替東京一七七四一番

朝日式經濟ランプ全國海外一手發賣元　東洋商會洋燈部



人事周旋業　百般

京城府明治町貳丁目　電話長一八四四番

萬年社



醇良無双清酒　衛生無害品質無双

發賣元　京城府黃金町二丁目　首藤京城支店　電話一一七一番

釜山港幸町　首藤釜山支店　長電話三四三番



周易家相

京城明治町二丁目

岡村介石



模造品續出乞御注意

本器は科學界の泰斗マイケルファラデー氏の發見唱導に係りダイヤマグネチズムの原理を大氣中に應用して人體に利用し得る治療器に就て…

オキシパサー　オキシパサー

腸胃病心臟病肺病其他呼吸器病神經衰弱…

效力永久に…

◆本品は輸入創始明治四十四年なり切にパサーの名に御注意

正價金參拾九圓　稅二十四錢

特約販賣　京城太平通電話六〇〇九番　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

定價金參拾九圓



内科　呼吸器病　胃腸病喘息

小兒科　リユマチス

京城本町二丁目四十五番地　電話二八八〇番

院主　山田萬作

山田病院

# 商況

## 東京期米特電
十二日後場 一節 二十六圓九十錢
十三日前場 二十七圓 丁受

## 兵庫期米特電
十二日後場 二十七圓八十九錢

## 大阪株式特電

| 銘柄 | 拂込額 | 十二日後場 |
|---|---|---|
| 宇治川水 | 五〇.〇〇 | [illegible] |
| 京阪電鐵 | 五〇.〇〇 | [illegible] |
| 東神紡績 | 五〇.〇〇 | [illegible] |
| 鐘淵紡績 | 五〇.〇〇 | [illegible] |
| 合同紡績 | 五〇.〇〇 | [illegible] |
| 阿上新株 | 四〇.〇〇 | [illegible] |
| 東神製糖 | 五〇.〇〇 | [illegible] |
| 大阪商船 | 五〇.〇〇 | [illegible] |
| 日本郵船 | 五〇.〇〇 | [illegible] |
| 同上新株 | 五〇.〇〇 | [illegible] |
| 堂島米穀 | 五〇.〇〇 | [illegible] |
| 東京株式 | [illegible] | [illegible] |
| 大阪株式 | [illegible] | [illegible] |

## 大阪三品特電
十三日前場
九月限 四一五、八〇
十月限 …
十一月限 …
十二月限 …
一月限 …
二月限 四〇五、九〇

## 大阪期米特電
十二日後場 先限 二十七圓丁度
三節 …

## 下關期米特電
十一日前場 颱風襲來の報あるも平穩の爲め氣崩跡押目買

| | 當限 | 中限 | 先限 |
|---|---|---|---|
| 寄付 | … | … | 毛、八四 |
| 高値 | … | … | 毛、八四 |
| 安値 | … | … | 毛、七一 |
| 止め | … | … | 毛、七九 |

## 雜報

●綿布稍落著く 昨十二日の大阪綿布相場は三銘柄先物十四圓三十五錢と高値より約四五錢安の邊に彷徨して兎角頭重き風情なるが當地は既報の如き事情にて人氣依然上調子を脱せず殊に粗布十六磅物は市中問屋の持品甚だ薄く三個内外を出でざるべしとて氣配尚上向かんとする形勢なるが値頃としては既に三エー標の四百三十五圓乃至四十圓といふ空前の珍高値にして而かも内地相場に比し五十圓内外も上走れる事とて買人も一方ならず注文を掲ぎらざる以上に於ては下し難く漸く地方には一巡行渡りたる際にもあり旁人氣稍々落付き模様となれり

尚信濃川丸にて粗布輕目物五十個許りの到著ありしが本品は未だ裏地用なるを以つて之が入荷は正月物に取り格別の影響なきものゝ如し十六磅物は尚多少の在荷あるか唱へ三百七十七圓にて高値なるも十八磅物に比し多少下値にあり

●三品小高し 大阪三品は昨後場當限四百十六圓十錢先限四百四圓を報ぜしが今前場は當限十五圓八十錢先限五圓九十錢と小高の三銘は十四圓六十錢入舍にて綿布昨後より二十五丁方の跳返しを報ぜり

●正米依然釘付 正米は引續き持合姿にて精米筋は明十四日の當市米市場の開市に待ちて同市場にて買入れんとし何れも手控へ居れり一方廻米は弗々荷馬車に入荷を見つゝあるが石に水の如く傍ら消化せられ又河筋物も既に入船一段落の模樣となれり

落の模樣となれり近來や由方場の如きは移出制限に既約口さへ決定の如く積出す事能はず或は之が爲め今後破約の恐れもある場合にて氣配日に惡化して過般來漸次に三四圓方・暴落し沿線地方又之が影響と輸送の不能に同じく氣崩れして平澤鳥致院方面より一石につき三圓前後の荷馬車賃を拂ふも尚當地に引合ふ程度迄下落したるが當地は前記の如き成行きにて在米次第に減退せる事とて各集散地の安値に伴はず軟味ながらも相變らず高値を維持しつゝあるも輸送の便だにあらば地方需給の調節上割安地買附好機會なるべく北筋にても既に此邊に注目し鐵道と交渉の結果鐵道にては之が買附米に對しては出來得る限り荷主の請求に應じて輸送の便を計る事を諾せし趣なれど併し輸送の便を得るも果して如何なる地に到著するか如何なる貨物存するや否や又如何なる地が何日迄も割安を持續するかといふの點は疑問なるも特に與へられたる輸送の恩典に對し此際當業者に於ても極力之が利用の途を考案して此機先大に需給の圓滑に努めざる可らず

●木炭漸く下向 木炭は漸騰の機先輸送杜絶を機へ一時急激騰を演じて一時小賣値は根炭の一圓六七十錢迄上り後需要の端を控び尚那邊迄昂騰を續くるや測り知り難き勢を示せしが既報の如く産地は之と反對に發送の不能に停滯著しく漸次此模樣を傳ふるに至り折柄鐵道當局に於ても現下の狀態を省み輸送上可及的便宜を與ふるに至りしより昨今遂には五六車の到著あり煉炭も又豫想の如く昨日來十車以上の到著を見るに至りたれば流石に暴勢を振ひつゝありし斯界の人氣も漸く之に緩和され昨日來市場にては高値より約二十錢方の反落を示し限先木炭も日に三四車宛到著の模樣なれば氣配先に或程度の反落は免れ難き模樣なり

●板硝子益强硬 板硝子は近來内地品の輸入杜絶して本邦需要は殆ど硝子の輸入を仰ぎ居れるが英米品共に輸入途絶えたるより尚海外輸出増加せる爲め昨今益々强硬を示し從來の大得意たる當地は入荷殆ど杜絶し…好況に乘じ最近又や二十五圓見當迄徐々引締まり居れり

●粗布輕目物 …厚物に比し入荷…

●洋燈類昂騰 洋燈類及び金具其他の材料等にて今や以來産地相場引上げ…約三割方騰貴し居れり

●木材 …高値十割以上

### 釜山穀物市場(十日)
▲玄米下落 …
▲小麥 …
▲大豆 …

### 南大門廻穀
仁川白米四叺 平澤白米一六十叭 開城玄米二叺 大田玄米三叺 …

### 蒟蒻粉甚落
所謂…高の爲め買人更に買進まず必需筋の小口注文に止まれるに拘らず出荷は唯一の硬材料さして居たる品も下り過ぎたる爲め製品減切軟化したるより山元の需要不振との爲め市況大に引緩み終に八圓方の一齊安に一等三百十四圓二等三百六圓三等三百二圓を唱ふるに至れり

### 下關相場
▲朝鮮米も不味 其後も米五百叭白米五百叭等の輸入ありしが大阪先約定物にして賣り物としての出まわり僅少なると弗々ながら昨今賣のぞきあると産地も其後別段安からぬ爲各米主安く手投げ出し兼ねたるもの如しされども何分内地米の漸落歩調にある折柄さて自然買人の高値は望まざるにより市況面白からず上一等白米百五十叭許りは三十九圓四十錢に手合せ行はれ其他當用への出來値は左の通なり

▲小豆は依然不良 本品は歴々報ずるが如く何分米價の漸落歩調にある折柄とて只管買人の手控へ居るため昨今賣れ行き鈍にして相變らず人氣面白からず然れども別に賣り急ぎ物も又現はれざる爲め差して市況安しと云ふにあらず

▲大豆は保合 其後新義州産二百五十叭の到著に過ぎざるも眼先新物出廻りを氣構へ且つ相當の在荷もある際とて前途如何か案じ只管買人見送り居るものゝ如し然れども夏物不作なると朝鮮産地の如き古物は大抵出ありたるやに眼先き餘り大したる輸入の見込みあられざる氣構へを以て別に投げ物的の賣り物も又現はれざる爲め昨今一寸持合の姿にあり

▲同大粒 八圓六十錢
▲雄基大豆 十六圓
▲長端大豆 十九圓十錢
▲元山大豆 十九圓九十錢
▲同 二十圓
▲端川標準大豆 二十一圓

### 各地商況
◎木浦米況(十一日) 當地移出商は初め各地店共一勢に見送りの態にて無取引全然買氣無く三等玄三十一圓以上には何れも一寸も買手無く勿論賣手も無く該許間散の程也 本日の激迴著二百俵餘然も買手なく相場も建たず見送りの不況也

◎大邱米況(十一日) 正米(相變頭重) 内地米は大阪二十七圓七十八錢節入…正米は何分輸送杜絶に…買手なく…

### 仁川正米
平康小豆一、九叺 開城正米一七五叺 平澤白米一〇四叺 仁川原粗一七五叺 全効大豆二四叺 仁川碎米二七叺 平澤玄米三〇叺

### 生魚市場
▲京城日丸市場 仁川元山の外若干の鮮魚物合せ極めて少數の入荷なり
仁川たい五〇さわら二六すずき一五はも二六にべ一四さより一八たこ二〇わび五〇〇あゆ四〇小たい四〇

### 仁川期米
▲十三日前場 大阪昨後場二十七圓丁度東京二十六圓九十錢兵庫二十七圓八十九錢今朝前寄未著にて當地先二十七圓と寄付き七錢さ叩かれたるも買物現はれ折拍東京前場十錢の高入電に七錢と引返し六錢と依然持合せり

### 十二日前場
▲先限四二十四圓メ五錢七錢六錢四錢…
▲昨後場大阪止二十七圓九十錢東京二十六圓八十一錢・庫二十七圓八十六錢の入電の大阪日無難に經過したるも偏の風に冷氣加はりたり…

### 市場雜觀
…二十錢と昨止同事に寄付きたるも買物多くて十七錢と下追ひ…四錢と押し三節十五錢より更に二錢と押し…

▲十二日後場は各地後寄未著に居るは實に苦痛な大ならしむるものである引跡大阪市場寄付二十七圓七十錢よりも四錢方入電に接したり…

### 仁川取引所 十三日の十一月限

| | 前場 | |
|---|---|---|
| 寄付 | 二十四円メ五 | |
| 高値 | 二十四円メ六 | |
| 安値 | 二十四円メ一 | |
| 出來高 | 三萬五千二百石 | |

| 十二日後場 | 平均値段 | 前日と比較 |
|---|---|---|
| 一節 | 二十四円メ四 | 一〇安 |
| 二節 | 二十四円メ三 | 三高 |
| 三節 | 二十四円メ四 | 八安 |
| 四節 | 二十四円メ五 | 一安 |

### 北濱だより
▲手數料問題 小口…禁止に由りて仲買は益々責任の重きを加へ來りたると共に取引所の本旨と見るべき手數料本位を以て營業の來は他の取引所の口錢に比して甚だ廉にして到底口錢の本位に料率は勝負は著しく店費膨脹を來すに至る…仲買人は漸く自ら衰滅の外なきに至らんとて此際手數料の引上げを要求すべく有志仲買に於て之が提唱しつゝありしが十日左記改正理由を以て仲買委員まで建議したり

改正理由の概要
(一)組人の營業は凡責任に於て之を小口營業禁止の結果として其立業者に何等選ぶ所なきに至れり是れ從來の營業に比し最大苦痛なる點なり
(二)貨物價の騰貴に伴ひ著しく店費の膨脹したるは事實の證明する處是れ亦引上の切なる所以なり
(三)前項の如く一面店費の膨脹しつゝあるに拘らず一面稅金の需要を加へ殆んど委…手數料の約半額は稅金に化せんとす殊に本年より戰時利得稅の負擔を加ふる等店費の膨脹と相俟つて殆ど腹背敵を受けたる觀あり是れ亦引上の緊切なる所以なり
(四)凡て現物取引の如きは多く一定の手數料を徴せざるものゝ如くなれども而かも株賣の買値合を以て少なくとも四五拾錢乃至多きは八九拾錢の口錢を收めつゝあるは一般的事實なり之れに比しては定期取引徒らに其責任の重きに反し締口錢は唯だ廉に過ぐ是又引上の至當なる所以也
(五)引上率の平均十割が一見稍突飛の觀なきにあらずと雖も現上料率は既に業に輕きに過ぎたる如今時勢の推運と相俟つて諸物價の著しく騰貴したるに對比せば之を以て決して苛歛なりと思惟する能はず想ふに當組合に於て此引上を斷行せば他の同業者亦必ずや之れに倣はん引上げ率は時勢に伴ふ必至の數にして蓋し世間又能く之れを容るゝに吝ならざるべきを信じて疑はざるなり
由來取引所に關する諸問題は弱に由りて其の說を異にし賛否相岐るゝが例なれば別項手數料問題の如きも亦に所屬に執りて其の一致を見難ければ愈々決定を見るは容易でないであらうか

# 世六番角力
毛谷村六助 第七席
桃川桂玉口演
浪上義三郎速記

此時三河守殿は餘りと申さば無禮なりと又思ひ直して『一應は御一覽の所は一先づ下れ』と仰せられ殿樣は御前座になり、予で指南番の天野小傳と申し合せ此上は如何にもしても六助を召し抱へずばならじと、評議の上小倉の城下の出口入口人通りの最も多い所へ高札を建てました、一體此者と尋常の勝負の上六助に打勝つたるものは即時五百石にて召抱へべきものなり、立花家執事と要所々々へ建てました、然るに亂國の時分ですから豐前小倉は四國中國の諸士が、小倉の城下へ入り此高札を見まして我一番六助と立會一撃にして五百石にあり付かんと、其都度小天野小傳の許へ申込む、六助の許へ案内をし傳は毛谷村の六助の許へ案内をして試合をさせましたが、何れも六助の爲に慘々打たれ這々の體で立去りました、茲に江州佐々木の浪人微塵流の達人東極内匠廻り廻つて小倉へ入り此高札を見て京『何ッ當頭分毛谷村の農夫六助と勝負を爭ひ勝つたものは五百石で即時召抱へ、ウーンこれやア面白い當家は僅三萬石の分家だが本家は九州諸侯として大した勢ひで、殊に豐太閤の御寵臣の一人』と宜く行けば亂世の時代必ず立身出世は出來る所の騷ぎぢやアございません、高麗明神樣よりの神傳と申しまして夫やもう高札を建てまして半月餘りにしかなりませんが幾百人御出でになりましたか數へきれません位多く參りました、私共でも隨分御武家の旦那樣の御宿をしましたが六助先生を一打にしてやらうと出て行く時には大手を振つて參りましてもお歸りは萎れてお出なさります、彼位手前共に御宿りになつた御客樣方も負けた數が知れません、何しても御領主樣の御指南番をなすつて御出になる天野小傳先生さへ子供の樣に六助先生に遇つてはやられると云ふ夫ですから恐らくは九州には六助先生に勝つものは御座いますまい、いや九州許りぢや御座いません日本一の名人でしよう 京『ウーン、大層力を入れて賞るぢやアないか、夫は何百人來ても負けたと云ふは弱い奴許り來たから負けたのだ、いますか長崎屋太兵衛で御座います 太『ヘイ旦那樣御開け申しても宜しう御座いますか、ナニ酒を取寄せ帳場へは充分に行渡りました、風呂へ入り上つて來て今酒を飮うとする所へ太『ヘイ旦那樣、長崎屋太兵衛の家へ一先づ宿を取りました、二人喜び城下の本町通り…

京『オ、宿屋の主人か、サッサ遠慮なく此方へ入れ 太『御免下さいまし、旦那樣今日は又御贔負を頂戴しまして難有う存じます、又多分の御茶代を難有う存じます』之こ一寸酔を張上て行きました、之は隣室の客に祝儀の催促で御座います、人の悪い男もあるものと 京『アヽ之れは亭主そう丁寧の禮では恐縮する、ウ、就ては亭主事に依つたら長逗留をするかも知れぬから何分宜敷く賴む 太『どうぞ宜敷く御滯在を御願ひします 京『時に尋ねるが此城下の入口出口に高札が建てある當頭分毛谷村とか申す所に六助といふ農夫で劍術の少し出來る男が居るといふが其方存じて居るか 太『旦那樣少しは劍術…

太『ヘイ、道樂と申しまして酒は飮ますし賭は嫌ひで、マア道樂と云つたら寃參の位でしよう 京『何ッ寃參りが道樂、妙な道樂があるものだな何うして… さうですかねへ』京『客樣だから逆らう譯にも行かぬ 京『何か其六助こか申すものに道樂でもないか、酒は…

るんだ 太『エイ實は六助先生は大の親孝行の方で御座いまして、幼い時に父親に別れ母親に育てられましたで其の母親が先年死亡なりまして夫以來毎日々々必ずお寃參りに出かけます』京『内證は話しの樣子では稀世の達人と思はれる迚も尋常の勝負では打勝事も出來まいと思案にくれました。

外科一般 皮膚科
泌尿器科 花柳病科
安部修二
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
電話番號一九一

●安東と電氣 安東縣に於ける電氣業は去る明治四十四年一月一日を以て安東電氣株式會社の權利全部を滿鐵に於て引き受け滿鐵安東電氣營業所の名義にて營業中なるが現今の發電所は第一を四番通九丁目に第二を停車場前に第三を日下六道溝に於て新築中なるが第三發電所落成の上は第一電發所を廢止するに到るべし去る七月末に於ける供給口數は四千十一口にして內メートル制のもの千〇七十七口、約束制のもの二百九十三十四口あり燈數は約束六千五百五十九燈メートル一萬一千七百八十燈合計一萬八千三百三十九燈之を十燭光に換算する時は三萬二千六百四十四燈に相當す猶電力の供給は三千七百四百六十馬力なり前記の供燈を區分するに會社七燈日本人千九百六十口一萬七千七百九十八燈支那人同二千十三口七百廿十八燈にして日本人は一戶八燈支那人同一人歐米人同九十七燈に相當す將來點燈の餘地あるは舊市街線路未設區域にて電力給供の申込は約一千馬力なりと

### 暦
九月十五日 九星
舊八月十一日 乙丑
本命五黃 八方定赤口

▲五黃 婚り論の事に日新事見合角方は吉暗劔なし ●六白 大闘大宮の日轉居開業入門求職金貸出 ●七赤 婚よき日轉居開業へ學等萬吉 ●八白 大闘の日金錢出入よき日 ●九紫 大望叶は吉縁町嗟に付せらるべし ●一白 吝なる萬吉 ●二黑 外見甚にゆかぬ事有日出だろ ●三碧 口舌なり ●四綠 に用心の事 ●五黃 入用心の事

七日ツケタラ鏡をごらんなさい色白くなる

ゲンソ液

宮内省御買上品 名譽金牌受領

一色を白くし
一アレを止キメをこまかにし
一おしろいのノリノビツキをよくし
一日ヤケおしろいヤケせず
一顏ソリ後に剃刀まけせず
一根本的色白く眞の美人美男子となる
全國の藥店小間物化粧品店に販賣す、近所に品切の時は直接本舗へ切手代用御注文を
小瓶廿錢 德用四十錢
送料内地八錢 海外廿錢
東京神田和泉橋際
本舖 松本禎次郎商店

地方に適し有利なる職業 頗る美術にして何人にも出來得る不問年中無休老幼男女共就業容易普通有ふれた職業に非ず熟練日改多大詳細郵券拾錢を要す(特約店募集)
東京市本所郵便本局前 形梅商店

イケダ小兒内科醫院
池田季雄
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話(醫院一二三四番 自宅一二〇〇番)

株式の要諦
通貨收縮戰局擴大及び戰時利得稅等六より株界は極度に畏縮するに至れり然し來る可きものは其反撥ならずして何ぞや=目下本會が從來年に換算し七割乃至八十割の好配を續行し來れるは則ち斯の如き畏縮の際買進みたる結果に外ならず=茲に第九回を組織す更に以上の好成績を擧け得べきは言を俟ず諸士夫れ速かに參加せられよ
加入金一口五拾圓 申込期間九月廿五日迄
日本信託商會證券部
第九回 株式郵新鐘新買同氣會
▲會則進呈
大阪市北區堂島濱通一丁目 電話長北九七二一 振替大阪四〇五六九

内科 胃腸病 診察夜九時迄
石川醫院
京城本町一丁目 電話二二七、二九番

優等清酒
福岡縣三井郡山川村
醸造元 冨安本店
京城永樂町二丁目
發賣元 冨安京城支店
電話四二九番 振替口座四三九番
御愛飮を祈り

産科 婦人科
二宮醫院
醫學士 二宮亮吉
京城壽町 電話一二〇一番

資本金壹千萬圓
頭取 安田善三郎
京城本町壹丁目
株式會社百三十銀行京城支店
電話局五八番 振替貯金京城一九四番 一二三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有

外科 皮膚科
瀬戸醫院
京城旭町二丁目(舊三丁目) 電話二四九八番
(診察夜九時迄)
醫學士 瀬戸潔

Glyconal
佐伯博士の榮養劑
グリコナール
本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル營養劑ニシテ五〇%ノ「グリコゲーン」及蛋白脂肪越幾斯分ノ適量ヲ含有ス
適應症。一般虚弱、心臟機能衰弱、胃腸病、結核其他慢性病者等濃厚滋養料ノ充足ヲ要スルモノニ對シ良ク其目的ヲ達スル事ヲ得。
百錠金壹圓=說明書進呈ス=各藥舖ニ有リ
東京室町
三共株式會社

### 尼崎汽船出帆
神代丸 大阪行 九月十八日後四時出
秀吉丸 群山、木浦、下ノ關、大阪行 九月十八日後四時出
群山、君が代丸 九月十五日後四時出
仁川海岸通二丁目(電話五九番) 高杉回漕部

### 大阪商船出帆
(仁川出帆)
神戶 大阪行(鎭南浦寄港) 日清丸 九月十四日 正午出
群山大阪行 安東丸 九月 日 後四時出
木浦大阪行 信濃川丸 九月十六日 正午出
(元山出帆)
清津行 宮島丸 九月十五日 後十二時出
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 安平丸 九月十四日 後九時出
(大連出帆)
上海、芝罘、打狗行 湖北丸 九月十四日 前六時出
基隆丸 九月廿八日 後六時出
內地各港出帆士要航路
歐洲行 一年四回 南米行 毎月一回
濠洲行 毎月一回 北米行 毎月二回 孟買行 毎月一回

御注意 ◎外國航路船客ノ時ハ五分前ニ航路ト其社トノ連絡並ニ… 朝鮮郵船出帆…
大阪商船株式會社 仁川支店 電話二二〇番 五番
京城切符發賣所 京城南大門通… 電話七〇〇番

### 日本郵船仁川出帆
大連、天津行 相模丸 九月十二日 正午出帆
酒田丸 九月廿七日 正午出帆
高砂丸 …
仁川海岸町二丁目(電話十番) 堀回漕部

### 朝鮮郵船出帆
天候ノ都合ニ依リ時刻日時變更スル事アルベシ詳細ハ本社又ハ各地支店出張所及代理店取扱店ニツキ御承合被下度シ
雄基行(經由各港) 九月廿一日 元山發
敦賀行(清津經由) 九月十九日 清津發
平安丸 九月十八日 元山發
越後丸 九月廿一日 元山發
浦汐行(大阪商船門司・釜山・元山・城津寄航) 九月廿二日 元山發
雄基行(×印…) 九月十九日 元山發
元山雄基線 穩城丸 九月十九日 元山發
山陽丸 九月十七日 釜山發
成鏡丸 九月廿一日 元山發
大阪行(神戶經由) 平壤丸 九月十四日 元山發
大阪行 平壤丸 九月十六日 釜山發
金剛山遊覽便 長門丸 九月十七日 元山發
鬱陵島行(釜山浦項經由) 京城丸 九月廿一日 元山發
釜山浦項線 金海丸 毎日 釜山浦港發
濟州島行(西廻) 公州丸 九月十九日 木浦發
東廻 三浦丸 九月十六日 木浦發
濟州島行 昌平丸 九月二十日 釜山發
釜山麗水線 巨濟丸 海州丸 毎日 麗水發
木浦麗水線 順天丸 九月十六日 木浦發
(以下三日目毎ニ木浦發)
多島海行 三浦丸 九月廿二日 木浦發
木浦 全羅丸 九月十六日 仁川發
海州行(仁川發) 龍江丸 南陽丸 毎日一回 仁川海州發
鎭南浦行 晉州丸 九月十七日 仁川發
靑島行 江原丸 九月十七日 仁川發
朝鮮總督府命令航路ノ外木浦等…
本社 京城南大門通 電話一二九五、二三三
釜山港佐藤町 釜山支店
元山港海岸通 元山出張所
仁川港代理店 堀回漕部
木浦港代理店 山野回漕部
京城荷客取扱店 京城南大門前 松原運送店 電話一七〇番
其他各寄港地に荷客取扱店あり

### 汽車發著時刻(九月九日改正)
▲京釜線南行(上段ハ下り定時列車)
南大門發 …
▲同上北行
…
▲京仁線
仁川發 … 永登浦發 … 南大門發 …
▲兼二浦線
…
▲湖南線
…
▲群山支線
…

# 京城日報

第五版

[illegible]其の要衝に據[illegible]云々と第二に聯合側は在滿指[illegible]を保たせ[illegible]の行動は極めて緩慢[illegible]的となり恰も手足を動かすが如く敏活の行動を成し得るに至りたること第二に物資の供給極めて豐富に[illegible]して一方獨逸側に於ては物資漸く缺乏し志氣衰へ兵數漸次減少しつゝある狀態なるを以て聯合軍の獨り[illegible]ざるべしと[illegible]ざるも獨逸側は從來の攻勢は全く放擲して守勢に出づべしと

## 米清罷業狀態

[illegible]を防ぎ其の[illegible]處ありしが鐵道側の幹部は何等答ふる處を知らず八日更に會を開き談會へは同盟罷業側の委員並に鐵[illegible]たる鐵道從業員委員會を復活し鐵道輸送の全權を該委員會へ附與せよといふにあり即ち從業員が團結[illegible]なるが如し何となれば彼等は我軍及び聯合軍の軍事行動を阻沮せんとしつゝあるものなれば東清鐵道從業員をして成るべく其罷[illegible]列車は東清從業員の手にて運轉せらる、か或は米國鐵道班の手により運轉せらる、が其の[illegible]なるが更に角軍隊輸送には無[illegible]れば我國は此際[illegible]の手段を執ること急務中の急務なりと因に本月四日哈爾賓以西滿洲里方面へ我軍隊を輸送せし二列車は露國の從事[illegible]

一部金參錢　一ヶ月金七拾五錢　三ヶ月前金貳圓貳拾五錢　六ヶ月前金四圓四拾五錢　壹ヶ年同八圓拾錢　郵券代用二割増
廣告料　五號十五字詰一行一圓五拾錢　特別[illegible]
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社　電話[illegible]　振替京城三〇〇番
發行兼編輯印刷人　大[illegible]三之介

## 日報　農本立國論（下の下）

獨逸又は米國に於ける上述の事實が恰も我が先聖の貽したまへる訓に鑑して、一の警誡を與へたるの趣きあるは奇といふべし。商工業の發達と共に、産業政策を直に英國に學ばんとするは、英國の國土が比較的劣等なると、並に全世界に亘りて廣大無比の領土を有するとの二大條件を忘れて、唯其結果を模擬せんとするものなり。健全なる商工業は必ず健全なる農業の上に立つ。英國の事實は、實際止むを得ざるより來れる變則に過ぎざるのみ。

科學はよく進み、人智ますく開け、世の中が如何なる文明國と爲りても、人類生業の基礎は、究竟農事に在らざるべからず。人類が物を食ひ、物を使用する限り、農産物の必要は止むべからず。詮ずる所、國は原料品を生産することを永久に繼續すべきか、はた原料品は之を國外に求め、之に加工し、若くは之を分配するの役目を引受くる方が、國の良策なるや否やといふことに歸す。戰爭の如き臨時突發の場合に於て、食物の獨立が必要なるとは、何人も之を否定せずと雖も、平時國際關係の圓滑圓滿にして、交通貿易に全く支障なき場合に於ては、世上此兩者の取捨撰擇に迷ふものなきにあらず。然るに戰爭とても永き年代の眼より之を觀れば、必然起るべき現象にして、決して臨時的偶發的のものにあらざれば、一國の經濟政策は、戰時平時の別を立て、取捨撰擇を決すべきにあらざるなり。更に進みて農事本體に就て觀察せんか、國民の健全なる體力と、健全なる精神が、常に農村の中に存することは、いづれの世、いづれの國たるを問はず、實際動かすべからざる事實にして、之を約言せば、一國の元氣は農事に因りて生育せられ、養成せられ、又保存せらるといふに歸着す。フイニシアの如き、猶太の如き、カルセージの如き、近世商業國の末路を顧みるときは、農業の基礎の上に立たざる商工業は、恰も砂上の樓閣と一般、一時は華美なる觀を呈すと雖も決して永久的に巍然たるものにあらざることを悟了するに十分なるべし。翻て歴史上に殘れる國々の覆轍を履んとするもの、今はた世界のいづれの方に存在するや。農業の衰微せる國は、其兵力必ず脆弱なり。且つ獨り其國民の體力が衰ふるがためのみならずして、一時商業國は國民の思想を輕浮ならしめ、自利に走り、虚誇を事とし、精神的に墮落の傾向を示すこと多きに因る。之れに反して農業國民は、意氣體力共に强健にして、加ふるに國土を愛重するの觀念に富み、民族相倚り相扶くるの思想亦極めて强し。是皆國興り民榮ゆる所以の要件なり。日本帝國が幸ひにして今日の强健を保持するを得るもの、實に農本主義の餘澤ならずばあらず。世の輕薄なる論者の、農本政策、重農主義を目して野蠻の遺習なりとし、帝國立本の大主義を打破して、只管英國流の商工主義を以て之に替へんとする、吾人其愚の及ぶべからざるを見るなり。

然りと雖も吾人は農本立國の大主義の保持を主張するがために、商工業を忽にすべしといふにあらず。世界の競爭場裡に立ち、優勝者の地位を占め得んには、倫ほ商工業の發達擴充を圖らざるべからざると、今更いふまでもなき沙汰なり。唯吾人の憂ふる所は、現今の産業界が、動もすれば其の本を忘れて末のみを逐ひ、浮薄なる商利思想の年々歳々に瀰蔓し、國民の都會集中の趨勢の著るしきの危惧、未だ之より大なるものあらず。之を匡救するの道は、吾人の徐に識者と共に講究せんと欲する所なり。（完）

## 時局と國民思想（八）
## 必ずしも憂ふ可きに非ず

樞密顧問官　一木喜德郎氏談（其一）

昨今諸物價暴騰の結果生活問題より起れる騷擾に對して識者のこれを憂ふるは無理ならぬことではあるが、一面から見ると其の態度が聊か神經鋭敏になり過ぎてゐはしまいかと思はれる。凡そ社會の生活狀態が急激なる變化を來す場合には多少の紛擾あるは當然のことである。昔も貧富の懸隔はあつた、多少の紛擾を見たことは珍らしくない。其れ故に何時の時代にも爲政者は富の分配といふ事に思ひを致し、努めて貧者を救濟する手段方法を執つたものである。昔の學者の經濟論は此の點に重きを置いた。故に國の富が段々に増加した場合は此點に對する注意が大切である。昔は社會階級の上から從へて農業に關するものを最も多く注意したが今日では農業に關する注意よりも工業に關する注意を最も多くしなければならぬとになつてゐる。されば一方に於ては經世に志ある人が所謂社會の狀態から來る危險を防ぐべく考慮を費すのみならず社會自身が自ら防ぐやうにしなければならぬ。即ち富者自身が内省し且自ら進んで之が方策を講ずる必要があると思ふ。彼の地主と小作人との關係が圓滿である時に際して、偶々經濟上に情勢變化し再び之れが平衡を得るに至る迄の變化の際に於ては、時に所謂社會の缺陷となりて現はれることがある。これを人の身體に譬へていふと、成長の時期に於て厄年といふがあり而も其の厄年には最も病氣に罹り易いといふが如きものと同じである。今回の騷擾も所謂成金といふものに對する、世の反感、嫉妬等から起る憎惡が一原因を爲してゐる。然し此の成金なるものを、虚心平氣に考へると國の經濟の發達を爲せるを證するものであつて、經濟界の發達せる時には成金は必ず起るべきものである。故に一面より考ふれば喜ぶべき現象である。社會が安定して、富者は富者、貧者は貧者、權者は權者といふやうに、明治維新前の如くであつたならば、社會の經濟的に膨脹することはいふ迄も無い。明治初年に四民平等といふことになつて門地門閥の弊を打破したとは現代五十年の文明の本となつてゐる。其の結果所謂裏店生が一躍して天下の樞機に與り、又貧者も富者となり得るといふことを示したことは、我國進歩の源となつてゐるのである若し然らずして、依然階級なるものが固定してゐたならば、民心の統一といふことは望むべからず。即ち昨日迄の貧者も富者となり得るといふ思想の存することは寧ろ健全なる社會の一徴候と見るべきである。故に彼の成金に對して嫉妬侮蔑の念を以てこれを見るといふことは實に誤つた觀察といふべきである。前にも述べしが如く經濟界に變化のある際に於ては、一方には非常な富を成すものが起るは必然のことである。即ち斯る場合に際しては、一般の人も何人も其ういふ機會を得る機會のあるものであるといふことに滿足し且つ喜ぶべきであらうと思ふ。（東京支局）

## 歷史上より見たる朝鮮

文學博士　上井哲次郎氏談

朝鮮と内地とは古來親密な關係が多かつた。元來朝鮮の古代史は能く分らない。古三韓の時代のことは、極概略なことしか知れて居ない。稍委しく研究されてゐるのは三國時代から以後の事で、三國時代のことも、本當に委しくは分らない。併し内地と朝鮮とが古代親密な關係のあつた事は歷史上明かである。日本の神話時代に神々が天安河原の畔に御集まりになつたといふやうな事があるが、那れは新羅の國の初めに創業者が、閼川の畔に集まつた事を聯想することが出來るのである。又保食神の言葉は、朝鮮の言葉以外には本當に解釋することは出來ない。即ち素盞鳴尊が新羅の曾尸茂梨に行き給うたといふことのみではない。『曾尸茂梨』は又朝鮮語で『牛の頭』といふことであるが、茂梨は今でも日本の言葉に殘つてゐる、頭を『おつむり』といつてゐるのも其の一例である。其他神話時代の事を種々研究すると、内地と朝鮮とは絕つに斷たれぬものがある。其れからは古三韓の時代に就いて一言すると、矢張り内地とは非常に親密であつた。風俗習慣より云ふと内地と共通する點が多い。而して中にも殊に馬韓は倭人と殆ど同一民族と見ても好い位である。其他馬韓弁韓の諸民族中にも日本の古風俗を有してゐたものがある。次いで三國時代になつては、内地とは非常に親密な關係になつて來てゐる。其の中でも百濟は内地とは、政治上其の他に於て非常に深い關係があつた。從つて百濟からは内地に歸化して來た者も多かつた。新羅、高麗から歸化したものも多いが、百濟の方が多い。其れに任那には日本政府があつた位で、日本の威力は大いに當時朝鮮半島に及んで居つた次第である。而して更に日本民族の由來を考へると、朝鮮半島から日本海を經て日本沿岸に移住して來たもので、そして其れは朝鮮が中心點となつてゐたやうである。されば元來朝鮮は、内地とは同類筋であつた。即ち[illegible]語脈に屬するのである。又朝鮮人と内地人とが、同じ服裝をして入り交つてゐると、其區別は一寸分らない。尤も朝鮮人も南と北は少しくタイプが異つてゐる點もある。其れから又内地人と朝鮮人と入り交つてゐると、朝鮮人の方が眉と眉との間が廣く開いてゐるといふこともあらうが、内地人にも其の點は無いことも無い。先づ内地人と朝鮮人とは其の風貌の上に於て殆ど區別が無いと云つて宜しい。然し今の内地人は朝鮮以外の血を引いたものが多い。所謂南方民族（熊襲）と混化したものであるから幾分か異つてはゐるが、根本的には異つてゐない。彼の四分五裂して居つた當時、其れが統一されても内地程の[illegible]は期しても得られなかつた。又李朝以後は朱子學の一方に偏して緩くなり過ぎて居つた又内地としては内地固有の思想を經とし儒教佛教を緯とし文化を編出したやうな次第で、統一する力も强いが、それを廣く包容する力も多大であつた。夫れが爲國運の隆興を來したのである。而して朝鮮は元來内地と異つた國では無い。國こそ別を爲して居つたが、親しかつた事は既に前にも述べた如くである。されば何うしても内鮮人は同化さるべきものである。要するに東洋民族中日鮮の如く古來より親密なる關係を有するものが今日相合して强大なる國家を爲してゐる以上は、今後層一層内外の形勢に鑑みて共に益々人間としての本能を全うすべきである（東京支局）

## 並行線（七十九）

瀧閑村

色々な始末を終へて、產婆は三時頃に歸つて行つた。

安岡迄送つて出た寛太郎は、心配さうに、

『どうも夜半から御苦勞を掛けて難うございました、子供も母もあれで大丈夫でせうか。』と忍びやかに訊ねた。產婆は下駄を穿き終つて、

『今の處御心配はございませんが、お子樣は少し月が足らないので、小さくて入らつしやいますが、御丈夫に善く發育して入らつしやるやうですから、保溫などに御注意下されば御心配は無からうと存じます。御產婦さんは少し時間が長かつた爲めに御疲勞のやうですが、さら、靜にさへして入らつしやれば大丈夫でせう──いづれ明日又伺ひます。』

これに稍安心して、寛太郎は產室に入つた。

そこには布團に包まれた小さな肉塊──まだ眼も開かず、なく毛の生えた、赤い色をした肉塊があつた。寛と手を鼻の上に翳して見たが、呼吸をしてゐるか居ないか判らなかつた。

『是が自分の子か、六千萬の同胞中に在つて、唯一の我が血を傳へたのが是か。』

と思ふと、頼り無いやうに擽つたいやうな氣持がした。

產婦は夫の顔と赤子の顔とを見て、安心したやうに血の氣の失せた顏に微な笑を上せて、又眼を瞑つた。

『まア、宜かつた、俺も安心した。』

產婦は眼を瞑つたまゝに頷いた。

『午飯を御上んなさい。』

と隣家の内儀が知らせて來たので坐を立つた。

『どうも大變御苦勞を掛けました、御蔭で無事に濟んで安心しました有難うございます、何にしろ手が無いもんですから。』

『なアにね、俺ァこんな事は幾度もやつて來たもんだからね、案じるより產むが安しだね。』

寛太郎は久しぶりで食事をしたやうに感じた。腹が膨れたら眠くなつて來た。肱枕をしてそこに橫になると、二つも三つも芝居を見た後のやうな疲勞を覺えた。

『人の父となつた。』

斯う云ふ考が頭へ上つたが、それはまだ少しも迫つたものではなかつた。自分の事でもあり、他人の事でもあるやうに余裕のあるのだつた。可愛いと云ふやうな念はまだ少しも動かなかつた。

うとうとと眠りに落ちた。

眼が覺めるとモウ灯が點いてゐた。お夏も來てゐた。おのぶの顔も枕もとにゐた。

『兄さん、お目出度う、男だつてね、よく出來だつたわね。』

寛太郎は苦笑した。大きな欠伸が續けざまに出た。

避暑山寺　永井鳥石

千章夏木綠陰清。翻鮮高僧石榻傾。溪水風來通一室。蒼涼山氣濕軒楹。[illegible]已。道心動。世外[illegible]。萬慮不存炎熱逃。

學[illegible]曰。沈思撫景。自極蘊致。

[illegible]　高田小舟

追涼逃火宅。來訪翠微宮。[illegible]溪[illegible]。落日墻邊紅。呼客醒長睡。[illegible]雨[illegible]風。

學[illegible]曰。語語實境。塵中人不能道此中一語。

東都書感　[illegible]

世道陵頹竟一無。滔滔流俗利名趨。炎風七月天如燬。萬丈紅塵[illegible]大都。

學[illegible]曰。慷慨之氣亦萬丈。足爽[illegible]

哭友訃　服部矢山

忽然訃[illegible]始深悲。痛哭[illegible]。[illegible]

學[illegible]曰。感慨淒涼。結處殊使人[illegible]

牽牛花　安永春雨

毛髮凜然。多蔓多葉任野生。幽化含露一朝榮。天上難分織女手。人間夙傳牽牛名。誰家閑翁試培養。斷蔓剪苗又栽蒸。寸盆收縮涼霄氣。炎熱如燬葉欲死。柔泉夕灑夜復生。曉看毛[illegible]。顧花[illegible]尺値連城。[illegible]書堞[illegible]。雲[illegible]滿庭[illegible]彩清。獅頭蝶翅又金輪。變化無窮奇勝正。公侯搢紳競賞玩。欲上都人月旦評。君不見水火錬天性。困厄果然玉汝成。[illegible]雖玉汝成安得[illegible]朝[illegible]。[illegible]

學[illegible]曰。培養[illegible]之功。毛[illegible]。多雲[illegible]。光彩變化。信無[illegible]也


商業登記公告

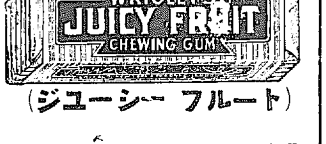
株式會社漢城銀行水原支店登記事項　大正七年九月三日各株ニ付金貳拾五圓ノ拂込ヲ爲シタルニ付各株ノ拂込金額ヲ參拾七圓五拾錢ト變更ス　右大正七年九月拾壹日登記　同上項中釜山支店ノ所在地ヲ大正七年九月七日釜山府本町參丁目拾壹番地ニ移轉シタリ　右大正七年九月拾[illegible]日登記　合資會社水原[illegible]米所登記事項中社員[illegible]水原寛ノ出資額[illegible]參萬圓ヲ大正七年九月[illegible]日退社シ同[illegible]ハ其出資額一萬九千圓ヲ金[illegible]ニ[illegible]出資額[illegible]譲渡シタリ　右大正七年九月拾一日登記　京城地方法院水原支廳

露語　支那語　夜學　（始業）　授業時間自午後七時至九時　出願期日九月二十八日限り　善隣商業學校　京城青葉町

新製品　力織綿機　六臺　尺巾綿織機　附屬品一切　右至急讓渡し度候間御入用の方は下名へ御申越被下度候　全南木浦　山本萬次郎

最新刊
朝鮮農業寶鑑　定價二、〇〇
現代中學百科說林特價　二、五〇
トルストイ日記　一、〇〇
文官受驗用必要民法便覽　二、〇〇
理科的研究と試驗の研究　二、〇〇
理化定則說明の疑問解決　二、〇〇
通俗傳染病論　一、〇〇
狐乙を中心に　一、〇〇
露西亞に遊びて　一、〇〇
朝鮮法規提要　二、〇〇
劍道の極意　一、五〇
家庭日常主婦の化粧術　八五
賣られ行く女　四〇
光は東方より　一、〇〇
日々の禮儀作法　四五
家庭化法　六〇
婦人美談たどりし方　一、五〇
京城〇最書式大全（朝鮮）　三〇
京城本町　大阪屋號

●外務員採用　毎朝九時迄に履歷書持參の事　京城本町四丁目　徵兵保險會社（電話[illegible]）　此頃阿部東吉なる者本社員と稱し居るも本社に無關係に候

（ジユーシー フルート）

リグレー製チウインガム

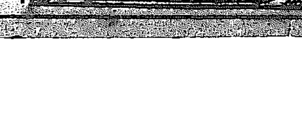
世界中で一番好かれる有益な菓子です、お爺さんお婆さんから子供衆まで家内中が樂めます。それは歯を白くし丈夫にし口中を清涼にし胃腸を整へ呼吸を爽にします。

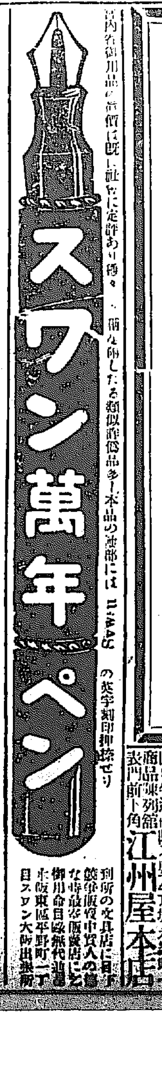
米國製世界中至る處に販賣す

朝鮮代理店　京城　エフエスホ商會

東京京橋區南金六町八　リグレー株式會社

（スピヤミント）　（ダブルミント）





[illegible]の定價は既に[illegible]に定評あり　簡易な附したる類似贋物品多し本品の軸部には SWAN の英字刻印押捺せり

到る所の文具店に有り　特約販賣店及卸賣店[illegible]　御用命は　大阪東區平野町一丁目　スワン大阪出張所

最新支那官紳錄

田原天南先生監修　北京支那研究會編纂兼發行

寺内首相　段國務總理　後藤外相　林公使　曹交通總長　陸外交總長　芳澤書記官　國[illegible]　谷壽[illegible]先生　犬養木堂先生　德富蘇峰先生　澁澤[illegible]先生　題辭　序

菊判布製上製函入千四百餘頁　索引百六十頁附錄四百卌四頁　正價金拾圓　送料內地十六錢　朝鮮及支那各四十五錢

政務及國民外交の最好鍵鑰　商工及各種事業の唯一指針

本書は信用內外に篤き北京支那研究會が二年間苦心調査の結果に成れるものにして、內容は支那名士、支那新民國人物志とも稱すべく、其最新官紳五千餘名を網羅し、其略歷を詳記して遺憾なく、一見以て當代各界の支那名士に接するの思あらしむ。有益無比なる附錄は五項目に亘り更に花を添ふ、今日の官民、殊に中央支那に提携の今日、官民、苟も支那を研究せんとする者は必ず一本を備へざるべからず。

有益無比の附錄

內容見本進呈　往復葉書申込

發賣元　東京神田　富山房　振替五〇一

京日案內
普通一回前金　一回前金（但客一回）[illegible]　七拾五錢[illegible]
▲申込後[illegible]中止の節は[illegible]　▲六回以上の御申込は[illegible]

有給店員募集　希望者來談あれ　京城本町一丁目　ますや吳服店

●記者募集　[illegible]經驗あるもの希望者履歷書持參にて來談あれ　南山町一丁目　朝鮮及滿洲社

イングリツシ、バイブルクラス　毎土曜後八時、西小門內スミス宅

土地賣物（坪一八〇圓）　一號地京城府三坂通四〇二番　一六八番但家屋付　京城[illegible]通五ノ八　伊藤商店

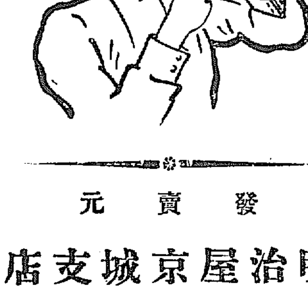
分拆鑛床調查及設計　電話（長）一三四四　一九二一　京城黃金町一丁目　鑛物試驗所

●募集　手代數名　希望者は本人來談あれ　京城青葉町二丁目　大和大三郎

恩給年金　低利長期即時立替　四年半迄保險不要　京城永樂町一　商品陳列館前　江州屋本店



なんと言ても
キリンビール丈は
暗闇で飲むでも
味がわかる


發賣元
明治屋京城支店

## 烏蘇里方面戰報

### △我軍ブ市著
哈爾賓司令部公表＝七日我軍はハバロフスクを經てブラゴエチエンスクに入れり同地官民の歡迎盛んなり（哈爾賓電）

### △我海軍ニコライエフスク上陸
哈爾賓司令部公報＝黑龍江口にありし我海軍の一部はニコライエフスクに上陸し赤衛軍を解散せしめたり（哈爾賓電報）

### ◇露都の大火災
ペトログラード市内十二ケ所より火を發し今や全市災上しつゝあり市外には至る處に於て虐殺行はれつゝあり（合同通信電報）

### ◇英人一千名抑留
一千名の英人はペトログラード及び莫斯科に於て人質として過激派政府の爲に抑留され居れりと（合同通信電報）

### ◇浦鹽貨物積戻　改正
浦鹽稅關長は今回稅關倉庫に保管中の貨物は總て積戻しに關し稅關評議のみにて許可を與へ領事團との協議を廢し稅關議會にて審査し許否することゝし領事團の賛成を得たり（浦鹽電報）

### ◇惨澹たる獨逸
一般に營養不良＝死亡率の增加
軍隊人員枯渇＝國民精神の變化

瑞西發＝獨逸にては目下各種食糧品乏しく一般に營養不良にて老人幼兒の死亡率多く軍隊の給養粗惡となり不平多く羅紗、木綿、皮具等乏しく貧民は靴を穿かず尚一般に洋服、靴下を用ひず服は各人二着の所有許可され他は軍事用、傭者へ支給の爲徵發されたり服一着の新調費は六千乃至一千馬克にて其註文にも官憲の許可を要し死人には服を着せ埋葬することを禁じ襯衣又は紙衣服を用ひ下穿は[illegible]乏の結果婦人の毛髮が代用とし爲に毛髮高價となり婦人中には髮を切て售る者あり綱索は紙製を用ひ居れり、人員枯渇し出征兵士は概して弱年なるより補充兵訓練期間は二週間を延長し八週間と成れり又學校教師缺乏し不良少年著るしく增加せり、ライン沿岸各都市は爆彈投下の被害多く爲に夜間の外出者は皆無の狀態にて市中は殆ど暗黑の世界なり一般に平和を求むるの聲高く國民の精神は大なる變化を來せり（東京特電）

### ◇獨逸の講和促進運動
獨逸の講和促進運動は漸く色彩濃厚となり墺國は物資缺乏の爲め窮境に陷りヘルトリングの鎭撫演說も効なく國内動搖するより獨墺兩國は講和促進の決心を固めたる如く今後兩國の行動注目に値す今秋より明春に亘り愈々講和の本舞臺に入るならんとは某消息通談（東京特電）

### ◇獨帝外相等招致
獨帝は外相ヒンツエ、ヒンデンブルグ、ルーデンドルフ等を大本營に招致せり（合同通信特電）

### ◇獨軍諸要塞修復
獨軍は今や白耳義に於けるリエーヂ、ガン及びブルーヂユ等の諸要塞を修復しつゝありとの報あり（合同通信特電）

### ◇獨汽船代償提供
蘭領印度に抑留せる獨逸汽船七隻は獨逸潜航艇が多數の和蘭船を擊沈せる代償として今回獨逸政府より全部和蘭に引渡す事に協定成り和蘭政府は其準備中なり尚ほ和蘭に擊沈船の代償提供を承諾したる以上他の中立國にても其抑留船引渡しを要求するに至るべく其影響大なるべしと（倫敦電報）

### ◇小露獨軍の移動
小露西亞にある獨逸軍隊は同地より佛國方面に移動しつゝあり（合同通信電報）

### ◇英軍エペヒーに入る
英軍はエペヒー（ペロンヌ東方約十五哩）を攻擊し其戰鬪部隊は同地に入れり其他の地方にては兩軍の爲進出力一般に減殺せり（合同通信電報）

### ◇土對勃愈開戰乎
土耳古は大軍を勃牙利國境に送れり這は該方面に於る占領區域の分割に關し兩國間に紛爭生ぜる爲にて今や兩國は公然戰端を開かんとする處あり是が爲め伯林は一大發展を惹起せり猶勃牙利は殆ど綱紀を[illegible]土耳古北方の細民き地帶を占領せり（紐育電報）

### ◇宮相山公訪問
十三日波多野宮相は小田原古稀庵に山縣公を訪ひ時候見舞の聖旨を傳達し其他宮内關係其他重要事項協議午後歸京せり（東京特電）

### ◇官有財產調査委員任命
十三日官有財產調査委員の任命あり右松法制局長官以下各省次官書記官等一課長其他にて合計二十四名西野主計局長幹事長に其他幹事六名なり（東京特電）

### ◇國民經濟調査會職權
國民經濟調査會官制は既に閣議に於て決定し御裁可を經たるに依り近く表さる可く同時に委員の任命を發す可く[illegible]なるが其職務は農商務大臣の諮問に應ずるのみならず建議を成す權をも有し大藏省より提出の調節案を審議する[illegible]

### ◎滿鐵社員增給
滿鐵社にては九月十日より社員に增給を斷行する事となり增率は月給百圓以上二割五十圓以上三割三十圓以上四割三十圓未滿の者五割なり（大連特電）

### ◇避難者通過
露領より避難し來れる支那人三百餘名十二日大連經由歸國の途に就けり（大連特電）

### ◇宮田司令官着任
旅順要港司令官宮田少將は十二日大連に著し十三日旅順に着任せり（大連特電）

### ◎鮮滿長距離電話と度量衡
鮮滿會議所聯合會建議案

京城商業會議所聯合會は嚢に十九日より三日間同地に於て開催の筈なる全鮮商業會議所聯合會を開催提議して鮮滿商業會議所聯合會々議了の上二十五日より大連に於て鮮滿商業會議所聯合會を開催すべく而して安東商業會議所にては鮮滿聯合會に提出すべき

▲建議案二項は何れも鮮滿共通にして密接なる關係あるを以て今回開會さるべき全鮮商議聯合會に於ても之れに對して協贊ありたき旨を希望し來れるが今其の建議書の内容及び理由を聞くに建議案の第一項は「鮮滿連接長距離電話の架設に關し當局官憲に要請するの件」にして其の理由は次の如し 歐洲大戰の影響は滿蒙に於ける帝國の使命に一段の重任を加へたり之に對ふべく既に其の第一步として鮮滿鐵道の統一朝鮮銀行の滿州進出、東拓支社、滿蒙經營等を主として次いで邦人の增加鮮人の移住等より鮮滿に於ける

▲通商貿易の增加 頻繁等一として顯著なる進を見ざるなし而して鮮滿國境貿易の鎖鑰を握れる安東の稅關の貿易統計に依れば大正五年度に於て輸出入總額二千八百七十四萬三千八百六十六兩なりしもの（此換算約四千四百二十六萬五千五百五十三圓餘）を六年度に於ては一躍四千二百八十六萬七千三百十六兩（此換算約八千四百八十七萬七千二百八十五圓餘）の巨額に上り而も其の大部分は邦人の手に依りて行はれつゝあるは喜ぶべき現象なり

▲滿鮮の關係は日に密接の度を加ふると共に通信機關の完備は從々焦眉の急に迫れるに拘らず之れが連絡上甚だ缺陷あるを遺憾とし安東會議所は先年來屢々當路官憲に向つて安東間長距離電話の架設を請願し第四十帝國議會に於て已に可決採擇に決せしことは[illegible]同時に火急の必要を感じつゝある[illegible]以て鮮滿[illegible]連絡通話を可能ならしむるに在り本件に就いては嚢に朝鮮總督府に向つて其陳請願せる處當時豫算並に電話通信の多少に依り實施困難なりとの說ありしも

▲如斯重要なる鮮滿連絡の機關は一日も等閑に附すべきにあらず當局官憲に於ても十分の意を致し以て鮮滿連絡上の圓滑を圖られんことを切望す」と言ふに在り建議案第二項は「支那（若くは滿蒙）に於ける度量衡を統一すべく我當局官憲より支那當路者[illegible]

▲滿鮮の關係 [illegible]

### ◎水產品檢査（續）
輸出水產品に於ける檢査制度は嚢に[illegible]品の聲價を傷けたるに鑑み去る七月一日より鮮內十六ケ處に於て檢査所を設け輸出物に檢査を開始せる[illegible]るが七月中の檢査成績及び種類別左の如し

▲統一を實施 せしめ以て日支貿易の發展を助長せしむるは現下の急務也と認むと云ふに在り

### ◎涼氣と稻作
昨今の涼氣急に迫りし觀あるが日中は相當の日射あり晩稻も概ね出穗し若くは出穗中にして[illegible]

▲世人の注意 を惹かざるもの如し而も其必要たるや[illegible]

### ◇派遣艦隊司令官更迭
我浦鹽派遣艦隊司令官加藤少將は近く歸國し後任として河原少將赴任に決定せり（東京特電）

### ◇日佛條約一部廢棄
佛國は現行日佛通商航海條約第九條（輸出入品に對する最惠國約款）を九月十日より一箇年後には廢棄する旨與地駐日大使より其筋に通知せり右は巴里經濟會議に基づく戰後聯合國經濟同盟の第一步にして最惠國條約締結各國には何等支障を來さずと（東京特電）

### ◇英國公使安協盡力無根
英國公使の南北安協盡力說は無根なりと（北京電）

### ◇徐總統就任通電
徐世昌氏は十二日各省に就任の通電を發し尚ほ救國、民生、法律を本とし政治を行ふにありと言明し財政の窮乏軍備の不備を述べ戰後東亞は列國の競爭場となるべし國本を確立するの途は舉國一致先づ內政より手を下すを要すとし既に立憲の兆たる志士の犧牲を促す旨附言せり（北京電）

### ◎朝鮮鑛業の振興策如何
鑛業家の會合

▲救濟策に 關する鑛業家の意見交換會は十三日午後二時半より朝鮮鑛業會に開會し發起人代表として津田鑛業會の挨拶あり次で座長に牧山耕藏氏を推し列席の諸氏より時局の結果甚だしく不振に陷れる鑛業界の救濟策等に付き各種の意見交換ありたるが要するに鑛業上の必需品たるダイナマイト、石炭、木材等を當局に於て大口に買入れ當業者に分配する事及び鑛產稅並に鑛區稅の減免

▲小製煉所 の設置に就き總督府に陳情する事等の意見あり

### ◎府尹諭告通達
京城府尹より府内各町洞總代に對し左の諭告を發せり[illegible]

### ◎南浦製鐵所
鎭南浦に有力なる[illegible]

### ◎明年度各省豫算出揃
明年度各省豫算概算書は陸軍省を除く外は既に總て出揃ひ目下一部の提出を見合はせ大藏省主計局にて査定中なるが陸軍豫算の提出も近く[illegible]

### ◎水原新米出廻
水原米穀市場には京畿道利川郡産新米毎日百石內外の入荷ある由なるが品質良好なりと

### ◎暴風警報信號所
成鏡南道北青郡新浦面、咸興郡西湖面及び咸鏡北道城津郡城津面等に暴風警報信號所を設置し九月二十日より信號を揭揚すべき旨十四日總督府官報を以て告示さるべし

### ◎連絡船八時缺航
風波の爲十三日夜入港の連絡船は缺航せるを以て十四日朝の釜山港からの連絡は缺航なれり（釜山電）

### ◎朝鮮醫學大會
朝鮮醫學會京城支部にては十四日午後二時より醫專講堂に於て大會[illegible]

### ◎視學講習會講演
京帝國大學教授醫學博士丹波敬三氏外六氏の講演あるべし

視學講習會第五日目十三日は午前中田中學務課長の教育行政上の注意及田中視學官の學校視學上の注意並に學術修養上の注意に關し有益なる講演ありたり

### ◎各隊署會計檢査
經理部會計檢査は十二日より二十日まで京城府內各隊署の會計檢査を行ふべし

### 人事消息
▲島岡亮太郎氏（大倉組重役）十三日京城を出發し東京へ
▲菊池忠太郎氏（元山水力電氣會社長）十三日退京
▲小田村勝四郎氏（同水電取締）同上
▲朝鮮軍司令官[illegible]十四日奉天に向ふ筈

### 烏瞰雜俎
▲米國の各大學では學生が殆ど戰爭に出掛けたので休校同樣の學校も多い▲其處で學校を閉じて[illegible]

### ◎內地米賣出價格低下
▲政府買付數量 [illegible]

米十萬石[illegible]


受驗界　中學世界增刊
高校試驗の結果
八千の不合格者四万の諸君
高校試驗講評
海軍試驗結果
海軍志望者に
各校本年度試驗問題解釋
英文和譯　佐々木慶太教授
和文英譯　宮井早大教授
代數　松村正則幹事
幾何　秋山法大講師
三角法　遠藤早大教授
物理　高垣陸軍教授
化學　池田陸軍教授
志望順（七十名）
受驗記
定價 卅五錢　博文館

朝鮮總督府見習試驗
大正七年九月
朝鮮總督府委員長　荻田悅造

抱腹絶倒　アゴはづし
滑稽畫出＝珍談茶話＝好評如湧‼
定價五十錢　青文堂

債券貨殖講義錄
五分で十分も思ひ通りスラ／＼辯用

即席才說法演說法
附席上討論術、祝辭、弔祭文集

自轉車部分品卸商　清水自轉車店　京城黃金町一丁目

課題及び募集規定

喪主　河嶋一敏
剃妻ミヅ儀病氣

百円進呈
りんびょう、ばいどく（藥合請）

帝國醫科大學病院
有田鑑製
にせ物

金銀箔　箔鉛商　堀至善堂

三浦天龍堂　時計貴金屬指輪眼鏡商

# ◎地味な所で働いてる
## 有馬良橘中將の大努力
### 聯合國は多大の利益を受けてゐる

海軍中將有馬良橘氏の名は今尚我等國民の間に記憶されてゐる、それは日露戰役の初め旅順閉塞の壯擧が中將の主唱に依つて試みられたので有名

◇鬼神を泣かしむる壯擧　時の戰報は當時世界の耳目を聳てしめ中將の勇氣は其部下の勇敢と共に天下の稱讚を博したのである、當時僅かに中佐に過ぎなかつた中將も爾來海軍部内の各要職を經て今は○○艦隊の司令長官に進んだ、歐洲戰亂の開始と共に中將は又た支那方面に居たが近く北方の

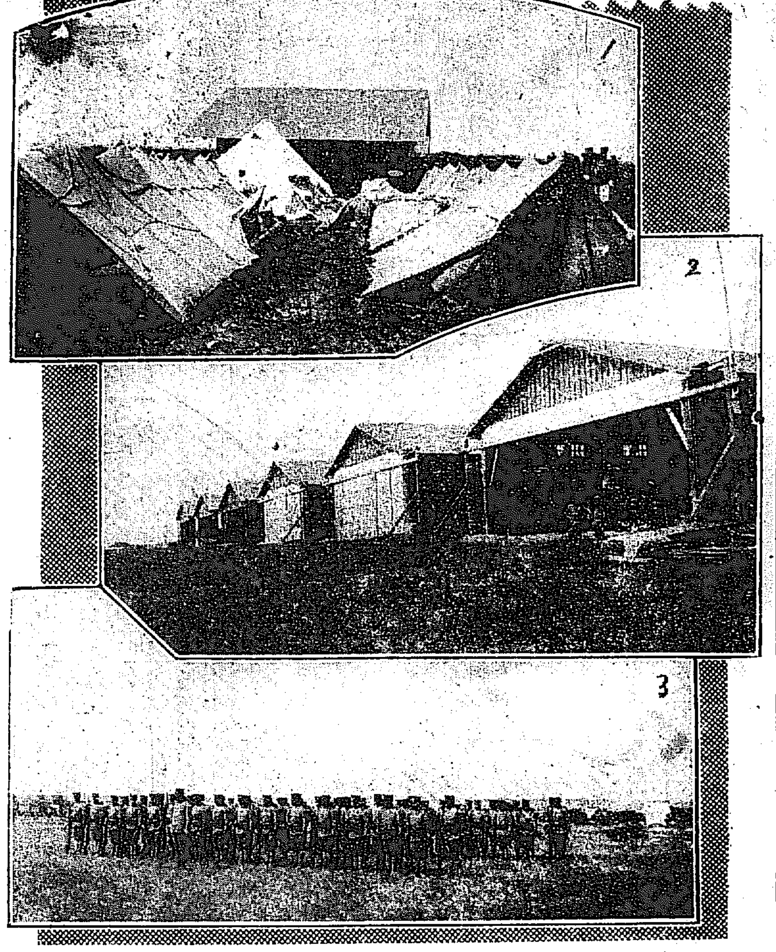
◇某要地に　移つて最も重要にしてしかも尤も困難なる任務に當つて居る、其仕事は頗る地味で緣の下の力持に過ぎない樣であるが中將ある爲に我國は勿論、聯合國の受けて居る利益と云ふものは多大なものである、曾て一寸傳へられた如く西伯利に居る獨墺の捕虜等が若し黑龍江に浮いてゐる露國の軍艦を利用し若くは商船の二三隻に武裝を加へて之を日本海から

◇太平洋へ　暴れ廻させたら其結果は如何であらう、此れは決して絕無の事とは云へなかつた、先年南太平洋や印度洋を荒し廻つて多數の聯合國の商船に危害を加へた獨艦エムデンの暴力を知つて居る者は此噂を聞いた丈でも慄然せざるを得ぬ、それが幸ひにして噂に止り

◇掠奪事件の　影だに見なかつたのは全く此任務に就て居る有馬艦隊の功績で、中將の苦心は蓋し尋常なものでない、其

◇勳功は　決して砲火の下に示し得る勇ましいものに讓らぬ然し露領の北方沿海は十月に入れば海氷が來るし其中旬には凍つて了ふのであるから其から後は敵も味方も活動する事が出來ぬのであるが

◇寒い風　と高い波の出る頃あの面白味の少い仕事に從事して居る中將以下の將士の勞苦は並大抵ではない、此點に就ては私共の深く感謝すべき處であらう、[illegible]中將の苦心は[illegible]適任者である其事業の詳細は發表して好い時が來たら改めて記す事にする



浦鹽從軍畫報＝從軍記者金谷眞撮影

（一）日本軍の露營（二）スパスカヤの飛行機格納庫（三）戰線の天節（浦鹽スウヤギナ驛に到着したる我○○聯隊の一部整列して東方に向つて萬歳三唱）（金谷說明）

# ◎愉快に勉強してゐる八百名の朝鮮學生（上）
## 高等學校に這入た者が二人ある
朝鮮留學生監督　荒木捨作氏談

玄海の五百里の波を蹴破つて遙々朝鮮より内地へ遊學してゐる者は本年七月一日迄に七百九十名に達してゐる、それ以來の者を合すると八百以上はあるかも知れない殊に此の九月の新學期に際して新來する者も決して尠くはないらしい、此多數の學生を監督して行くのであるから我監督部でも甚だ多忙を極めてゐる次第である、然も此七百九十名の學生は三府廿三縣に亘て散在してゐるので之るから監督上に於ても一方ならぬ困難を感じてゐるのである、今

◇其府縣別　を述ると東京府が六百六十名で京都府が三十三名、大阪府が十七名、兵庫縣が十五名、廣島縣が十名、神奈川縣が八名、長崎縣、愛知縣、岡山縣に各五名、和歌山縣、栃木縣、千葉縣に各四名、福岡縣、岩手縣に各三名、滋賀縣、青森縣に各二名、奈良縣、石川縣、宮城縣、山口縣、愛媛縣、島根縣、長野縣、山梨縣、秋田縣に各一名といふ割であつて、其内女生徒が東京の二十六名と神戸の十八名とで合計四十四名である、今此留學生の出身道別を示めせば京畿道の百九十三名を最多に慶尚南道の九十七名、全羅南道の八十九名、平安南道の七十九名、平安北道の七十一名、咸鏡南道の五十七名、慶尚北道の五十四名、黃海道の四十一名、忠清南道の三十七名、全羅北道の三十六名、忠清北道の二十三名、咸鏡北道、江原道の各七名といふ割合である、今等學生の

◇最近七年　間の統計を調べて見ると大正元年が五百三十五名で同二年が六百八十二名、同三年は減少して五百八十二名となり、同四年は六百七名に同五年は五百七十四名となり漸次舊に復して同六年は五百五十八名となり同七年即ち今年は一躍七百九十名の大多數となつてゐるのである

そこで學生の成績はと云ふに年々向上しつゝある事は爭ふべからざる事實で漸次優等の受賞者の增加しつゝあるのを見ても是れを證する事が出來るのである、殊に今年は高等學校の試驗に於て正式に及第せし者を二名出だす事が出來た是は朝鮮留學生の最初の及第者であつて實に此上無き出來事である此名譽ある一名は京城の出身であつて

◇牧師の男　たる朱耀翰である彼れは中等學校を優等の成績にて卒業し此度悠々として第一高等學校の第一部に入學したのである他の一名も同じく京城の出身であつて順天病院長康[illegible]の愛見たる康廣洪である是れも同じく中學校を優等にて卒業し此の度第三高等學校の第三部に入學したのである

此等兩人の學力優等なるには内地人學生をして瞠目の眼を耀かしめてゐるのである（東京支局）

# ◎故乃木將軍滿六年祭典

十三日は乃木將軍殉死後滿六年の當日なるより中央乃木會にては例年の如く午前八時より乃木邸にて又同十時より青山なる將軍の墓前にて祭典を執行せるが參拜者多數にて盛況を極めたり（東京）

# ◎恒富氏の道頓堀のモデル
## 伊丹幸の千代宮

大阪畫壇の一異彩北野恒富氏の今度の展覽會出品『道頓堀』は六曲一双へ大阪の名物道頓堀に舞妓を描いた美人畫である、川風ゆらぐ柳の[illegible]

▽盛裝　した舞妓が二人[illegible]青い葉の間から白い顔[illegible]の服裝の色彩が[illegible]道頓堀川に映れる夕陽の[illegible]したものである、氏は[illegible]女を描く心算で[illegible]

▽緋色　の[illegible]を描き[illegible]

▽南地　[illegible]

▽舞妓　のモデルに丹幸の千代宮といふのを頼み[illegible]千代宮も[illegible]が間違つて、飛んだ滑稽な話もありましたよ　アハヽヽと語つた（大阪）

# ◎馬賊
## 民兵を窺ふ

八月廿五日各自鎗器彈藥を携帶せる馬賊約百二十名は[illegible]民家を襲撃せんとしたるが[illegible]忽ち民兵二十五名を以て附近山野に散開せしめ嚴重なる警戒を加へたるに[illegible]

▲扇海丸を救助　[illegible]

▲推進機を　落破し遂に進退の自由を失ひたる[illegible]

# ◎東拓鐵道罷業
## 解決せず

[illegible]罷業者が從業を[illegible]解決せしも依然罷業継續の狀態にありとの報あり（東京特電）

# ◎箱乘捕はる
## 前科三犯の曲者

東京千束町生れの[illegible]と自稱する前科三犯の曲者は去月十四日福岡を出發し各所流浪の末同月二十日頃渡鮮し去る八日南大門より大邱までの三等切符を買ひて乘車したるが鳥致院驛より乘車したる[illegible]藥種商泉宗次郎（[illegible]）が居眠りせる隙に乘じて同人の鞄一個を窃取し何知らぬ體にて大邱驛に下車したり、然るに泉は斯くと知つて直ちに驛に届出でたるが其後搜査の結果彼は該鞄中より衣物二枚を出して入質し鮮人飲食店にて飯を喰ひたる上慶山に陸行せんとしたる處を取押へられ目下大邱警察署にて取調中なるが此奴は多分内鮮地にて列車に乘り込み掏り取り等をなし居れるものゝ如しと（大邱）

# ◎積荷を棄てゝ沈沒を免る
## 損害約一萬圓
喜勢丸遭難詳報

神戸橋本汽船株式會社所有木造汽船喜勢丸（九百六十三噸）は神戸に向け航行の途中去る四日午後二時三十分全羅南道務安郡黑山面牛耳島南方漁島南牛浦の海上に於て暴風に遭ひ航行不能となりたる爲牛耳水道を航行すべく船體を回轉[illegible]

# ◎汽船淺瀨に乘り上ぐ

汽船[illegible]丸（[illegible]十三噸）は旅客[illegible]を搭載し[illegible]製鐵所[illegible]附近にて船體[illegible]の上たるが船客[illegible]人命にも異常なく十三日入港せり（[illegible]）

# ◎泥棒に斬らる
## 抵抗に屈せず終に賊を逮捕す

京城蓬萊町二丁目マーテル農園に十一日夜一名の賊忍び入り葡萄棚の下に佇みて多數の葡萄を窃取し居たるを同園主任の高橋善吉が夫と知り取押へんとして引捕[illegible]

# ◎蘭塲燒失

義州郡批峴面第二所在義州郡蠶業組合批峴蠶室の乾燥室より去る七日午後九時三十分出火し同十時二十分鎭火せり原因は詳かならざるも過度の焚火の爲め出火せしものゝ由し燒失戶數[illegible]

# ◎貨車十五輛燒失
## 二名重傷＝越後西山驛の椿事

十二日午後一時半越後鐵道西山驛にて石油タンク貨車と石油貨車衝突し十五輛燒失し吏に寶田石油倉庫に延燒し當務員二名重傷を負へり損害多大なり（新潟電報）

# ◎時局に鑑みて
## 軍事お伽講演

十四日午後二時から鍾路小學校で開會[illegible]時局の秋は少年少女の小さき胸をも[illegible]

# ◎七年前を偲びて
乃木大將追慕　鍾路小學校の[illegible]

乃木大將逝いて七年―十三日は[illegible]

# ◎季節に入つた釋王寺の松茸
## 山開は廿日頃

釋王寺の今日此頃は初秋の野趣殊に好く足鬼く客は元山より汽車[illegible]

▽松茸は　八月中旬に[illegible]

▽下旬か　若くは來月[illegible]

# ◎十二日の施米

[illegible]

# ◎救濟會寄附

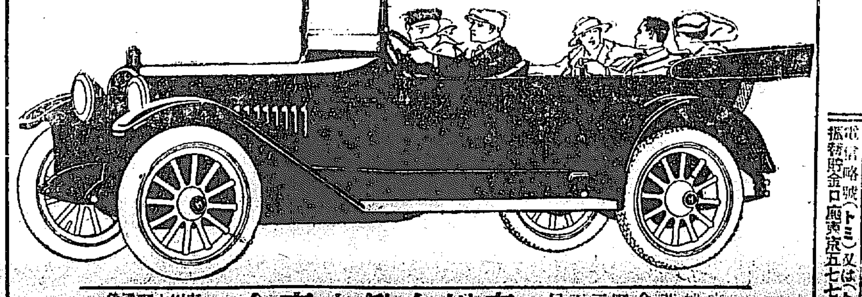
金三十圓　朴漢壽
金二十圓　李得洙
小計金五十圓也
累計金九萬五百五十圓二十錢也

# ◎春川自動車移轉

[illegible]

# ◎うはさの噂

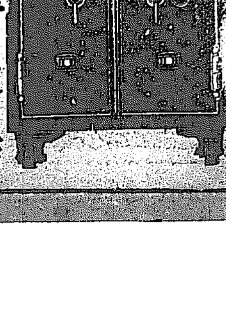
[illegible]


京春間定期郵便物運搬御用
# 京城春川間乘合自動車
從來水標橋通りにて營業致居候處今回下記へ移轉致候間一層御愛顧の程奉願上候

京城黃金町二丁目　春川自動車商會　春川本町通角　電話二七番



斯くの如き
# 「安全投資の道」あるを記憶せられよ
方今の經濟界に馳驅して優勝を占めんとするには必ずや大資本家の競爭あるを覺悟せざる可からず
◎大資本家に對抗する道ありや？
●出資金　一口金五十圓
●利益配當　一年最低三割確證
●營業期間　一期僅かに三ケ月
尚ほ詳細は『資金活用之秘訣』を御一讀を乞ふ
東京市日本橋區[illegible]町二十六番地
合資會社　十三屋天野商會



# 堅牢
にして尚外觀に曲線美を有する我竹内ベント金庫は東洋[illegible]界の權威なり

京城本町　熊平支店
（御申越次第詳細目錄送呈）



營業創立明治二十八年
時計及蓄音器卸商
京城黃金町二丁目　喜多金光堂



內科　小兒科　チアテルミー科
入院隨意
中島醫院
京城府明治町二丁目　院主　中島貞信

## 妻の心 九十二

十五の五 小林蹴月作 武内桂舟畫

此の叫び聲が聞えたのであらう。遥か間を隔てた中部屋の方から、おくればせながら例の新參者の勝やが、覺束ない風恰好で寢惚眼を擦り〳〵出て來た。

『おやッ、眞暗で御座いますわね。奧樣、御寢なつてお在遊ばすんで御座いますか。』

僅に泣聲を抑へて、胸の動悸を撫で下しながらの禎子は、斯る中にも餘りに取亂したる姿を見せまじとの心で、

『おう、然う云ふ聲は、勝やのやうだね。今大變が出來たんですよ。』

『奧樣、大變とは何事なんで御座います。そしてまあ電氣はどう致したんで御座いませうね。』

『譯は今、咄しますから、先へ電球の好いのを持つて來て下さい。』

勝やは命ぜらるゝ儘に、完全な球を何處からか取外して來て、禎子の部屋のと差換たのである、お陰で八疊の室内は、白晝を欺く明るさとなつた。

『奧樣、大變のお話と云ふのを早くお聞かせ下さい。』

『勝や、吃驚しちやいけませんよ、まあ、妾が口で云ふよりか、その緣側の邊を見て御覽……』

『緣側の邊を見ろと被仰いますので……？』

勝やは、氣味わるくも瞳を定めて、その迹を見て居ると驚いた。泥足袋の足跡が所々縱横に附着いて居る上に、緣床の隅に在る用箪笥の小抽斗が亂暴に開け放されて中には疊へ打撒け儘の狼藉極まつたのさへも目に附く。

『奧樣、泥棒でも入りましたんで御座いますか。』と、勝やは、顏の色を變へながら叫んだ。

『まあ、そんなに大きな聲をお出しでない。まだ泥棒が其處いらに居ないとも限らないからね。』

『だつて奧樣、旦那樣のお留守にこんな事がありましては、妾共まで申譯が御座いませんで御座いますから、御隱居所の方へお知らせして御隱居樣に來て頂いた方がよろしいでは御座いませんか。』

『まあ〳〵、その事は少時待つてお呉れ。妾さへ口を緘んで、辛抱して居たらば、そんな家中の騷ぎを爲ないでも濟みますよ。』

『でも奧樣、何かお盗られになつたんで御座いませう。』

『時計やら指環やら種々な物を盗られたやうですの。けれどもね、そんな物は又お金さへ出せば拵へる事が出來るから、妾、左程に苦痛とは思ひませんが、只ッた一個取返しの付かない大切な物まで持つて行かれて了つたんですよ。』

『取返しの付かないお品と被仰いますと？』

『命に次いでの大切の品です。』と禎子は、心から殘念さうに長い息を吐きつゝ、

『事に依たら、是が旦那樣と永久のお別れをする前兆かも知れない。』

『まあ、小細い事を被仰いますわね。泥棒の入るなんて事は、何個の時の災難で御座いますから、そんなに御心配なさるもんでは御座いません。運の好い時には、警察から自然にその品が戻つてくる事も幾らも御座いますさうですよ。』

『でもね、勝や、成らう事なら警察へお屆けするなんて事は爲たくないのよ。第一阿母さまのお耳へだつて入れたくないと思つてるんですもの。』

禎子は今宵の強盜事件を飽まで秘密裡に葬つて置きたいと冀ふのである。何故ならば。なま中這座の事が母親喜久子の耳へでも入つたが最後、その蹈り返しは更に幾層倍の砲彈となつて、自分の頭上へ墜ち來るかも知れない。何事も降つて湧いた一時の災難と斷念めの、怖い夢を見た跡の冷汗と肚胸を定めて、言はず語らずが何よりの方便であらうと思ひ決めたのである。それに禎子の常日頃から非常に心配して居るのは、新聞の三面記事である。此の事が若し、警察沙汰にでもなつた曉には、必ずや『町川代議士夫人強盜に襲はる』なんて二號活字以上の大問題として、尾鰭を添へて書き立てられるに違ひないであらうが、附隨して起るべき譏謗は即ち、家庭の紊亂とか夫妻間の風波とか乃至は妻妾の同棲とか云ふ醜陋の文字に極つて居るのである。禎子は、今夜の強盜から一太刀浴せかけらるゝよりも良人の不德罪行の始末を世の中に發表されるのが、より以上辛く切なく思ふのである。

名刺 京城 太平堂 電話二七二番 振京一三六七番

### 子規忌俳三昧

日時 自九月十四日至九月二十三日十日間

場所 市内和泉町七官舍、中村烏堂方

△毎夜午後六時より開催、敬虔にして峻烈なる吟修を期す。參會隨意。

‖五の日十の日會‖

### 日報歌壇

あかつき(二) 高須賀默

あかつきの物の冷かも物かげにひそし蟲の聲もこそすれ

やうやくに大樹の梢に照りそめし朝のひかりのあはれなるかも

めづらしく朝起なしてこゝ〳〵と竹の障子を開け放ちけり

あかつきの竹の末葉に搖れ初めて露曲なく落つる朝かも

吾が家を掩ふばかりの大木に蟬鳴き初めて日は出んとす

朝の日のやうやく發し蟬の聲いよ〳〵旺りて木々のしづもり

夏庭のしめりに濡れてあかさきなさまよひながら一人樂しめり

川面を這ひ下りたる朝霧は見る〳〵畠に白く罩めたり

打わたす飛山つゞき平壤に朝のひかりのいただきに照れり

〇江畔の秋 群山 香原夢穗

おほどかに鷺啼き交はし下り舟舟子かなしみ港晴やか

もりの港なする川舟におほどかに鷺啼きてゆくかな

蘆と共に思なわれさなりゆくが見ねて來つるに此なば呪はし

かゝろ事舟に明さば恐ろしき子さなりしかと咲んあはれ

### 日報俳壇

婆羅門詩社詠草(永登補)

瓜 桑瓜

句作せる五人に瓜が割れたり 槿城子

風に灯せる瓜番小屋の明哉 同

詩書に倦みて瓜れ食ふ午下畝なる 梨影

甜瓜に頭鳴らしチゲ等居り 同

瓜賣りの閑るチゲに西日哉 紫幽

遠き歸るの月に匂ふ眞桑哉 同

頃も井持ちて瓜を添ける小家哉 紅之介

夕燒に瓜撈りヨボ等遊し 同

泳ぎ歸りし子等と割る眞桑哉 同

眞桑つるし牛が嗅ぐ月の町哉 蒋茘

面皮所のとなりの瓜畑廣々 同

雷濟みし瓜番小屋の夕鵲哉 同

▲婆羅門詩社第四〇題 露、花火、秋の花各題五句以下締切九月二十日、好者の投句を歡迎す、原稿は登浦西仲町大久保詩草宛の事

三星會詠草(京城) 青川選

輝る畑に飛ぶ蟋や青田風 紅子星

秋近き機杼の音する小村哉 同

水車踏む唄ゆかな青田風 碧子星

硝子戸に來て鳴く虫や秋近き 同

トンネルを出て明るき青田風 紅子星

朝顏の花咲く垣も秋近き 同

▲秋の句を募る 句數等制限なし、雖も用紙は成可半紙白紙又は半紙形野紙に認められんことを望む

### 新刊紹介(到着順)

▲建國史話(新渡戸博士著) 米國ヒラデルヒヤのロバーツ夫人著英國水提督ウヰリアムペン傳記を譯せるものにしてペンは今より二百七八年前即ち十七世紀の前半に英國に生れ歷史の上に最も重要なる役割を勤めし思想高潔なる偉人にして殖民地國の大業を成して壯快なる傳記趣味を主として執筆せられし傳記なり(一圓二十錢東京實業之日本社)

▲特許(二ノ六) 十五錢 東京芝櫻川町一(新案特許社)

▲極東時報(七二) 純佛文五十錢東京麹町内幸町一の五 其社

▲婦人週報(四の三三) 五錢東京牛込市ケ谷田町二の一七 其社

▲現代の鬪爭(一巻) 東京赤坂區青山南町二ノ四〇 現代鬪爭工藝社

▲亜細亜時論(九月號) 論説 號國一致大發揮を始め各國の狀況を詳細に報じ時論にして米國調節に伴ふ本誌の伯利の將來、支那問題解決等あり其他資料、雜纂、通信、時報等 三十錢 東京麹町區池町一ノ一黒龍會出版部

▲新公論(九月號) 全國食糧騷動問題に對する諸大家の意見を以て充滿し振味の記事として新作家の潑剌たる生氣と藝術味豐かなるものあり 三十錢 東京麹町區加賀町一ノ八 其社

### 讀者の領分

▲〔…〕乙號の〔…〕隊、抽籤〔…〕召集〔…〕班に候也、〔…〕さして九十日間入院の趣は〔…〕に候哉、尚ほ時にも共に軍令部の指示を乞ふ(テイエム生)▲朝鮮軍司令部へ御尋ね申します、南部地方の朝鮮から召集は何月何日より召集施行被成ますか、本欄にて是非御示し下さい願します(片山在鄕軍人)▲日歌れで拜見する大邱百合樣はもしや藤樣ではございませんか御住所はやはり御宅のですか御差支へなくば此欄まで(ケイオト生)▲洞たにか地人にして〔…〕の欣し伺ひせ者あり仲義と云ふ者も存じあらざるか附近の迷惑一方ならず急何とか取締られたし(〇ノ洞忠告生)▲私が臨時土地調査局在職中より贈られたる竹のステッキは〔…〕のもので赤壁の賦の例の燒鉄で畫いたのでありますが頗る出來が可いので大切に持つて居りましたところ去る大正五年十一月下旬仁川から夜行列車で歸る途中列車の中か、小荷物受取場か、又は途中で立寄つた京城の某所で紛失したのであります、所が其の際まだ其時は目下第〇〇師團に屬して遠く西伯利亞の曠野に轉戰中でありますから其は今に至つて此の紛失の記念物を思ふこと一層切なのであります。心當りの方は何卒御掲載御知せ下さいませんか、呉々も御願ひします(龍山エム・ロイ)

### ◎西部戰線近狀

軍全く不統一に流れ從つて軍の行動に於て非常なる支障を來しつゝ、ある更に第三に兵力の益々增加し〔…〕勢力を得るに至るは當然の成行き

東部鐵道の同盟罷業に就きて直接鐵道幹部の出席を求め打合せをなしたるが其結果依然不得要領に了して已に等の勢力彼我を圖る所以にして一種の政治的團結と見るべき〔…〕妨げんとするは當然の順序〔…〕を擴大せしめ以て其軍事〔…〕

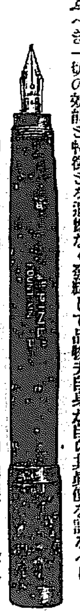
なるもの、如く且つ各種發表の時間等も不明瞭なり要するに東清鐵道守備隊の手にて動かしたるも所謂罷業の目的は軍事必要の妨害に〔…〕なるが其の後は全く〔…〕


感ずる所有之自今禁酒可仕候 須川久彦

内科 眼科 小兒科 京城黄金町三丁目赤門通(電車停留所前) 院長 本田建義 本田醫院 入院隨意 電話二四四三番
附屬 京城肛門病痔疾療院 肛門病 痔疾特種注射根治療法 解説書入用の方郵券二錢要 振替京城三二八番

優等清酒

廣島縣西條町 釀造元 木村靜彦
京城府鍾路(中央市場) 發賣元 河野酒店 電話二三〇八番

パイン萬年筆

商品を吹聴するにこの邊まで誇張を要すかパイン萬年筆に就ては一語の誇張を要せず萬年筆として備ふべき一切の効能と特徴とを遺憾なく發揮して品物夫自身が自ら其眞價を語るべし
萬年筆使用の快味を知らむとせば先づパイン萬年筆あることを御記憶遊ばさるべし
最新鑑出式 六圓八十錢
銀裝附模樣付 四圓九十錢
實務 三圓八十錢
學生號 二圓八十錢
ビジネス事務用ペン 一圓九十五錢
京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番
發賣元 京城日報代理部

人氣益々盛なる
白色美顏水(はくしよくびがんすゐ)

▲茲に意外な
秘訣があります。皆樣はよく、少しも惡ごらしい所が無く極く自然に、スッキリと氣持のよいお化粧顏の方を御見かけに成ませう。而して餘程お化粧上手の方か、何か特別の

▲秘密な方法
に依らないでは彼あは行かぬとお思に成ませう。所が案外にもあのお化粧が今では誰にも苦なく出來る時代となつて居りますのです。これは光榮ある桃谷研究試驗所創製

▲三十六種の
高貴御用品の内の一種として、今や大變な人氣になつてゐる白色美顏水でお化粧なさつたのです。實際此品でお化粧すれば、例なく、見事に、丁度生れついて色白の方の

▲自然の儘の
色の白さ、美しさ……、あゝ言つた美しさが極く美術的に、それでゐて少しも惡ごらしくなく發揮される樣に成つてゐるから妙です。一體從來お化粧と云ふものは概して

▲婦人の苦痛
の種になつて居たもので、兎角不自然で白ペンキの樣に白かつたり何となく薄黒かつたり、斑だつたりして、何うも充分綺麗に行かなかつたものですが、白色美顏水が

▲學者の研究
で世に現れてから、全く然ういふ心配が無くなつたので、婦人方の滿足此上なく、忽ち大變な歡迎を受け、今ますます流行となつて居るのですが、では白色美顏水とは

▲どんなもの
かと言ひますと、普通の水へ白粉を溶込んだ樣な品で無く、桃谷研究試驗所で新に發見した美容成分と或特種の白粉を元にしてありますので、第一被覆力が強い爲附て

▲斑にならず
生れつき色が白い樣や白さに附き第二に白粉の原料に殊に光澤のよいものを撰んである爲其白さに如何にも活々した艶が添ひ、第三に前に申しました新しい美容成分の

▲新しい作用
から化粧の一時的の美しさばかりで無く、常用するうち生地から皮膚を艶麗にし素顏の美を增す特色が在ります。化粧を一層自然に惡こらしくなく而て美術的にと言ふ

▲近來の婦人
方全體の御希望は、始めて白色美顏水で滿されたのであります。斯ういふ完全な化粧料ですから、白色美顏水は高貴の方々の御間にも始終御愛用を拜して居ますのです

御婦人方へ
現今の御婦人全體の要求に
ぴつたり適つた新化粧料

白はぎ

◉美顏化粧料發賣元 桃谷順天館
東京市日本橋區本町四丁目 東京市麹町區有樂町一丁目 大阪市西區靱南通二丁目
電話 營業所 東京本局二三〇番 同一六二六番 同一六二七番 大阪土佐堀六四七番 同六四八番 工場浪南三一二八番 同四八二七番 同五三三〇番 試驗所 東京新橋一六一三番 同二六三九番 同三六一四番 支部芝三四八〇番
振替 東京一五〇八八番 大阪二九二番